

計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(平成 26 年 4 月 30 日までにご連絡をいただいた方々)
 <お詫び>『会報』第 38 号「計報」欄に 52 回生 柏田邦彦様のご健在であるにもかかわらず、誤ってお名前を掲載してしまいました。柏田様ならびに関係各位には大変ご不快の念とご迷惑をおかけしてしまいました。誠に申し訳ございません。茲に謹んでお詫び申し上げます。

回生 氏 名	死亡年月日	回生 氏 名	死亡年月日	回生 氏 名	死亡年月日	回生 氏 名	死亡年月日
29 矢島 英武	2002/3/26	42 横山 榮良	2012/7/	49 新村 一幸	2012/12/23	58 樋口 敏夫	2013/12/18
30 中島 和希	2013/8/5	43 栗林 正賀	2010/12/30	49 花岡 弘	2013/6/12	58 宮坂 五三男	2009/7/22
32 岩下 馨根	2009/3/12	43 小口 國一	2013/5/18	49 宮坂 英男	2013/5/1	58 山口美智雄	2006/10/1
32 田中 敏治	2013/4/28	43 小坂 敏朗	2009/7/15	49 宮坂 一秀	2012/11/27	59 上條 勝	2010/8/15
32 両角 英夫	1997/12/17	43 笹岡 績	2010/11/8	49 山田 達男	2008/9/22	59 美才治厚行	2012/9/20
32 矢島 一清	2010/4/15	43 花岡 勝男	2009/9/18	50 坂本 健彦	2013/9/20	61 小林 光男	2013/6/13
34 守矢 奥次	2009/5/23	43 宮坂 利二	2012/12/31	50 青沼 武男	2013/6/28	62 黒河内谷明	2007/4/
35 原 親夫	2011/3/1	43 芳澤 勇	2013/4/2	50 河西 行彦	2013/2/19	62 小松 道俊	2013/5/31
36 名川 方敏	2013/4/1	44 伊藤 裕人	2010/12/14	50 矢崎 靖	2013/11/25	62 新保 正喜	2012/1/18
37 中村 晃	2011/7/20	44 小口 哲男	2014/2/18	51 牛山 武	2013/7/22	62 田中 幸洋	2014/1/9
38 青木 靖恭	2010/3/10	44 河西 謙一	2013/4/24	51 大堀 京一	2013/12/15	63 伊藤 衛	2004/1/
38 鮎澤 深	2012/6/1	44 鶴巻弥三郎	2013/1/4	51 小松 良蔵	2013/10/17	63 今井 公雄	2010/2/
38 上原 良雄	2014/2/15	44 矢ヶ崎収一	2012/11/24	51 関口 昌弘	2010/11/	63 小林 勲	2009/2/
38 黒河内 保	2013/8/16	44 矢崎 直忠	2013/6/29	51 古畑 公伸	2013/5/21	63 長田 勇	2012/3/14
38 小林 巧	2011/3/12	44 山岡 清武	2012/12/12	51 松尾 芳樹	2013/8/3	63 中村 幸弘	2010/5/17
38 茅野 平二	2013/3/25	45 河西 文彦	2012/7/29	51 宮坂 幸人	2010/1/18	63 畑 俊太郎	2011/4/19
38 中嶋 武夫	2002/9/14	45 小川 光男	2012/10/26	51 山岡 孝造	2012/3/1	63 春宮 明宣	2013/2/28
38 花岡 和夫	2013/3/15	45 興 敬蔵	2009/2/14	51 渡会 信二	2012/4/26	63 藤森 勲	2012/9/5
38 浜 慎人	2012/3/9	45 小島 秀夫	2012/10/11	52 味沢 正治	2013/3/10	63 松倉 良忠	2013/1/2
38 林 英之介	2010/12/11	45 五味 五郎	2013/1/26	52 牛山 房弘	2013/6/5	63 矢崎 正勝	2008/3/
38 百瀬 興二	1995/7/19	45 五味 良秋	2014/3/22	52 大和 節雄	2013/1/15	65 春日 健児	2012/4/12
39 赤羽 篤	2012/8/22	45 峯村 秀夫	2013/12/3	52 北澤 武	2013/1/8	65 中村 國彦	2014/4/20
39 石原 幸夫	2012/10/28	45 宮坂 重正	2007/11/23	52 倉田 幹彦	2013/11/27	65 林 良一	2013/
39 大宮 直治	2013/1/24	45 宮坂 文雄	2012/12/8	52 関 喜光	2011/2/19	66 伊藤 興八	2010/1/27
39 小松 政重	2012/7/16	46 興石 吉寛	2013/5/8	52 高木 正弘	2013/9/4	66 津金 秀典	2013/10/
39 林 徳次郎	2013/9/29	46 小林龍太郎	2013/6/12	52 田中 正利	2014/4/8	66 濱 正雄	2014/
39 細川 俊介	2011/12/14	46 齋藤 清一	2013/1/7	52 波多 秀夫	2011/10/4	66 新村 俊洋	2014/3/18
39 松木 駿	2007/10/6	46 平林 稔里	2005/3/12	52 御子柴誠一	2004/2/11	67 伊藤 信行	2013/5/20
39 松田 惣作	2005/12/15	46 宮坂 義三	2012/12/1	55 有賀益千代	2013/3/24	69 折井 公明	2008/10/31
39 吉江今朝人	2013/3/15	47 今井 邦夫	2013/9/25	55 伊藤 千弘	2013/3/3	71 牛山 正英	2011/3/12
40 小口 芳保	2011/10/20	47 植松 昭三	2012/8/14	55 塩澤 元伸	2013/6/7	71 新藤 保	2010/11/5
40 小滝 寛長	2013/8/31	47 小口 寛二	2004/6/7	55 関 令明		72 脇坂 和人	2010/9/19
40 花岡 三郎	2011/4/30	47 倉島 武男	2002/9/29	55 林 作衛	2010/9/4	73 牛山 純男	2013/2/
40 林 武志	2006/4/1	47 小林 繁	2012/5/21	55 藤森 昇	1955/11/30	74 田崎 滋久	2013/6/28
40 宮坂 光亮	2013/1/19	47 塩沢 活	2011/11/1	56 中島 悌二	2012/1/10	76 山田 雄三	2014/4/4
40 宮下 悦蔵	2013/9/16	47 中村 三吾	2013/11/25	56 五味 晟	2013/10/30	77 宮下 隆幸	2013/12/26
41 味沢 春幸	2006/3/2	47 林 功三		56 中村 昇平	2005/9/14	80 向山 寛	2009/3/19
41 伊藤金次郎	2006/6/6	48 伊藤 順一	2013/10/30	56 平林 高	2013/10/31	81 進藤 洋一	2013/8/5
41 武井 尚	2012/3/31	48 小坂 要治	2013/9/6	56 和田 守生	2011/12/	84 五味 信義	2012/3/21
41 千村 茂允	2013/1/9	48 竹村喜一郎	2012/12/14	57 薄井 哲哉	2014/4/19	86 今井 重雄	2013/4/24
41 勅使河原一	2010/7/29	48 星野 光弘	2013/8/4	57 小口 智弘	2013/1/16	87 松澤 敏宏	2008/8/17
41 五味 泰巳	1947/6/1	48 向山 昇	2013/9/4	57 五味 菊雄	2007/8/26	90 中島 操	2013/8/9
41 柳澤 和夫	2013/3/3	48 両角 喜作	2012/4/18	57 榊原 清夫	2012/5/9	93 藤森 智美	2012/10/1
42 今井 芳樹	2013/7/26	49 大村日出雄	1998/7/24	57 浜 正彦	2012/8/11	96 牛山 岳史	1993/2/11
42 岩波 松美	2013/9/21	49 小池 清一	2008/2/17	57 山崎 善司	2011/6/18	96 小口絵理子	2013/12/16
42 駒谷 吉弘	2003/8/8	49 関 誠男	2013/10/16	58 小林 是之	2013/2/15	田嶋 窪田 孝美	2013/7/23
42 矢崎 正彦	2013/4/4	49 田中 譲	2007/4/24	58 武井 史雄	2012/9/1		
42 矢島 鑑	2013/9/9	49 中島 謙吉	2012/11/1	58 土橋 利男	2013/6/9		

株式会社 横谷温泉旅館

おかげさまで創業 91 周年

代表取締役 篠原元文 81 回生

取締役支配人 金子康正 79 回生

〒391-0301 茅野市北山 5513

TEL 0266-67-2080

LEXMARK

安川 昌昭 (81 回生)

代表取締役社長

レックスマーク インターナショナル株式会社

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町 20-7

ITO ビル 7 階

TEL : 03-5649-0024 (ダイヤルイン)

Homepage : http://www.lexmark.co.jp

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第 40 号 発行：諏訪清陵高校同窓会 発行人：同窓会長 松下 勲 編集担当：第 81 回生 (昭和 50 年入学)

同窓会事務局：〒 392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL : 0266-58-0356

特集・パネルディスカッションテーマ

今、私達の生命に起こっていること。

～医療の現場・脳科学の研究室・食の市場から～

現在、日本では総人口の約 4.3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者という高齢社会となりました。日本における高齢者は今後も世界で類を見ないスピードで増加を続け、2055 年には約 2.5 人に 1 人が高齢者という「超高齢社会」になることが予想されています。そんな現状を身をもって実感しているのは、その真只中にいる、あるいはその年齢に近づいている我々ではないでしょうか。

そこで、「いのち」をキーワードに、81 回生の仲間が、医療の現場から、脳科学の研究室から、食の市場から、それぞれ語ります。そして、同窓の皆様とともに「考え」「語り合う」ことから、さらなる「生」の活力を与えられたら、と願います。

特集 CONTENTS

今、私達の生命に起こっていること	P1
パネリスト 1 ●医	P2
北條 史彦さん 81 回生	
55 才世代から見た「いのち」～医療の現場から～	
パネリスト 2 ●脳	P3
篠原 菊紀さん 81 回生	
脳の力の「おとろえ」をふせく ～脳科学の研究室から～	
パネリスト 3 ●食	P4
大島 一二さん 81 回生	
日本の食・その課題と展望 ～食の市場から～	
寄 稿	

①最期まで、自宅で自分らしく生きたい	P5
81 回生 小口 朝彦さん	
②「生きにくさ」を「生きる」	P6
81 回生 林 義明さん	
③精神科の診察室から	
81 回生 岩崎 弘子さん	P7

在校生の参加も
大歓迎！

定期総会のご案内

平成 26 年度定期総会 (午後 1 時より)

パネルディスカッション (午後 2 時 40 分より)

日 時 平成 26 年 6 月 28 日 (土)

テーマ

場 所 ホテル紅や (諏訪市湖岸通り 2-7-21)

今、私達の生命に起こっていること

議 事 ①平成 25 年度会務・会計報告

～医療の現場・脳科学の研究室・食の市場から～

②平成 26 年度事業計画・予算案審議

懇親会 (午後 4 時 30 分より)

③その他

会 費：5,000 円

懇親会前売りチケットは、当番幹事 81 回生 (代表：山村 suwaseiry081@gmail.com)、各地区支部、学年幹事まで。

当日受付も可。

諏訪清陵高校同窓会長 松下勲 (当番幹事：81 回生、次年度当番幹事：82 回生、サブ幹事学年：91 回生、101 回生)

附属中学校 見学会のお知らせ

「諏訪清陵高校附属中学校校舎」を
見学できます！

6 月 28 日 (土) 午前 10 時～11 時 (総会当日)

集合 清陵高校玄関前 10 時

案内 附属中学校 佐倉副校長

今、私達の生命に 起こっていること

55 才世代から見た「いのち」 ～医療の現場から～

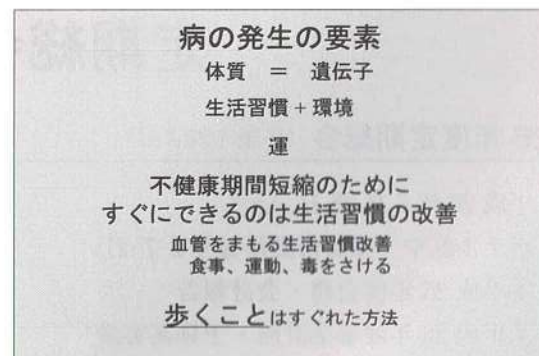
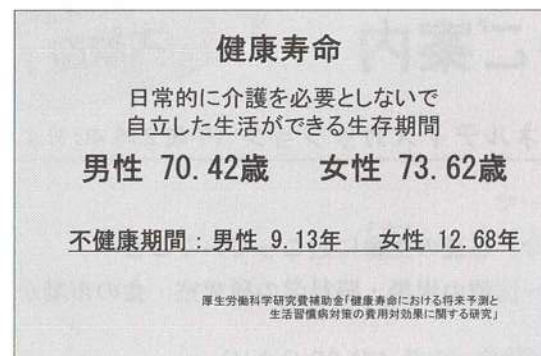
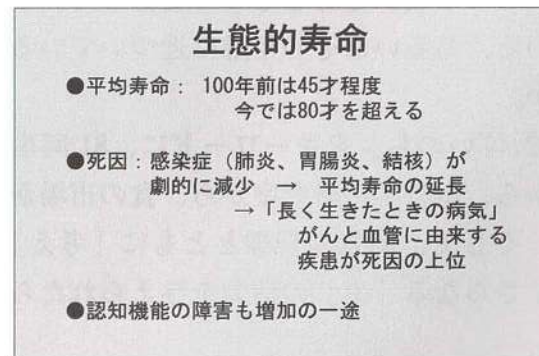
小張総合クリニック 院長 北條 史彦



ほうじょう ふみひこ・上伊那学生団
東北大学 医学部卒業。3 年間の内科医研
修の後、札幌医科大学、国立療養所松戸病
院呼吸器内科、国立がんセンター東病院呼
吸器科にて、肺がんの診療・研究に携わる。
1999 年、国立がんセンターから小張総合
病院（千葉県野田市）に移る。現在、小張
総合病院副院長・小張総合クリニック院長
として、総合内科の診療を行うとともに、
健診センター、電子カルテをはじめとした
病院の IT を担当する。

幹事学年である私たち 81 回生は、戦後 15 年程たって生まれました。深刻な公害や、喫煙、飽食、モータリゼーションによる運動不足など、健康に対してネガティブな面もありましたが、生活環境、医療の向上で、平均寿命は 1960 年に男性 65 才、女性 70 才であったのに対し、現在では男女とも 15 年ほど長くなっています。

疾病構造も変化し、感染症が主体であった時代から、長寿に伴ってがんと血管に由来する疾患が死因の上位を占め、認知機能の障害が大きな問題になっています。直面しているのは、高齢者の増加と少子化により社会保障をどう維持するかという問題です。現在では単に長寿を志向するのではなく、「健康寿命」という言葉が強調されるようになりました。健康寿命を延ばすため、私たちが今すぐにできる生活習慣の改善。食事に気を使う、運動をする、毒を避けるなどさまざまありますが、特に有用な点がたくさんある「歩く」を強調したいと思います。



今、私達の生命に 起こっていること

脳の力の「おとろえ」をふせぐ ～脳科学の研究室から～

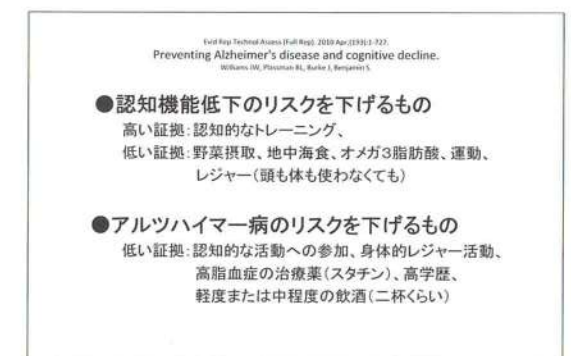
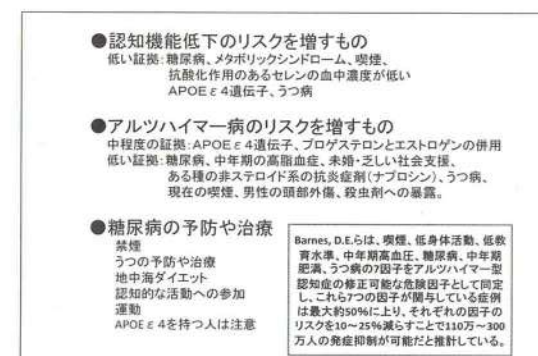
諏訪東京理科大学共通教育センター 教授 篠原 菊紀



しのはら きくのり・山浦哲歩々々
東京大学 教育学部卒業。同大学院教育学
研究科修了。東京理科大学諏訪短期大学講師、
助教授を経て、現在は諏訪東京理科大学共
通教育センター教授、東京理科大学総合研
究機構併任教授。茅野市縄文ふるさと大使。
専門は脳神経科学、応用健康科学。この
ところ、ギャンブリング障がい研究と遊
技場を健康サポートセンター化する研究に
関わっている。

頭の働きの低下の予防に何が役立つと考えられているか、お話しします。
まずは、歳とともにその成績が低下しやすい認知機能テストをふたつ体
験していただきます。そういうテストの実施力が低下するので、「何かを
しに二階に上がった方がいいが、何をしに来たか忘れてしまう」「すごい
ことを思いついて、話し始めた方がいいが、何を思いついたか忘れてしま
う」といったことが増えるのです。その予防に役立つのが、頭をしっかりと
使うこと、有酸素運動や筋トレなど体をしっかりと動かすこと、生活習慣病
の治療や予防、そして人とかかわることです。

…ま、そうなんですけど、あと 15 年もすれば、iPS による T 細胞療法
など本気の若返りが実現してしまう公算が大。すると脳も体も元氣な超超
超超高齢者があふれかえり、人口減どころじゃない。
「そういう人類の未来はどうよ？」が、みなさんへの問いかけです。



最先端技術にはロマンがある

理想を追求した **ノイズカットトランス**

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



高度情報化社会のアクセラレーター＝不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす
株式会社 **電研精機研究所**
創業者（工博）矢ヶ崎昭彦（47 回）

本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613
大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5プロスペリタツツ橋 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777
ノイズトラブル相談室 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を受けます。 URL <http://www.denkenseiki.co.jp/>

信州諏訪の酒、真澄です。

- 上質な真澄を最適な状態でお客様へ ●真澄でお客様の食卓を和やかに
- 人と街に優しい酒蔵に ●日本酒を世界酒へ

1662（寛文2）年の創業から350年あまり。真澄は昨年より一年分背筋を伸ばして四つの夢の実現に励みます。皆様の益々のご健勝をお祈りいたしますと共に、真澄蔵元に倍旧のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

www.masumi.co.jp
www.facebook.com/sakemasumi

信州が生んだ天下の銘酒
真澄
MASUMI

七号酵母発酵の酒蔵
宮坂醸造株式会社
〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16
TEL.0266-52-6161 FAX.0266-53-4477

いのち
今、私達の生命に
起こっていること



おおしま かずつぐ・上諏訪学生団
東京農業大学 大学院博士後期課程修了。
農業経済学博士。東京農業大学助手、教授、
中国・青島農業大学教授を経て、現在、桃
山学院大学経済学部教授。他に千葉大学大
学院非常勤講師、東京大学大学院非常勤講
師なども兼任。専門は中国経済論、中国農
業論、現在は日中間の食料貿易、食品安全
問題、食品企業の海外投資について研究し
ている。

日本の食・その課題と展望 ～食の市場から～

桃山学院大学経済学部 教授 大島 一二

日本の食料自給率は 39% (2012 年) と、世界の中でもっとも低いグルー
プに入っています。それは、所得、労働力、農地のすべての面から衰退傾
向が著しい日本農業の実態はかなり大きな問題といえます。今、もし輸入
が途絶えたら、日本国民はイモだけ食べ、かろうじて生きながらえる程度
の農地しか残っていないのです。

ところがその一方では、皮肉なことに、日本の和食・食品が世界から熱
烈に愛されはじめています。世界的に日本食ブームがおこり、日本食品が
普及しています。2013 年には、和食の世界遺産登録も決定しました。

今日、この「日本農業の衰退」と「世界から愛される日本の食」という
相反するような二つの情報をお聞きになって、皆さん自身が、これから、「世
界から愛される、すばらしい日本人の食料・食文化」をどうしていったら
よいのか、どうすべきなのか、もう一度見つめ直してほしいと思います。

日本農業の衰退(1)

<世界で最も低い食料自給率>

日本: 39%
米、加、仏、豪: 100%以上
独: 84%
英: 70%

震災と原発事故、TPP交渉の趨勢などで
さらなる低下も懸念

日本農業の衰退(2)

<農業労働力の減少と高齢化>
日本の農業総生産額
1984年: 11.7兆円 → 2006年: 8.3兆円
農家の平均所得に占める農業所得は25%

<農業生産基盤の崩壊>
1960年: 農地 609万ha/人口 7,000万人
現在: 450万ha/ 1億3,000万人

世界に愛される日本の食

<日本食レストランの増加>

海外の日本食レストラン: 24,000店(推計)
北米: 約10,000店
アジア地域: 約10,000店
欧州: 約2,000店

<日本食ブームと日本食品の普及>

「日本食が世界遺産」となる!

まとめ

日本農業の衰退は深刻
日本人は自らの食料をどうするのか
一方で、「世界から愛される日本の食」

我々は、「日本の食」を
どうしようとしているのか?
どうすべきなのか?

医療法人 順 恵 会
伊藤外科医院

院 長 伊藤隆一 (第58回生)
医学博士

長野県上伊那郡辰野町大字伊那富7483
TEL 0266-41-3388

不二屋代表取締役 新村 良雄 (四九回)
下諏訪町四ツ角 新村 隆 (八五回)
TEL (0266) 271-8505
FAX (0266) 281-7095

諏訪名産
初霜

寄稿

「最期まで、自宅で自分らしく生きたい」

81 回生 小口 朝彦

東京医科大学卒業後、平成 23 年 4 月、長らくの病院勤務生活を辞め、東京都町田
市に訪問診療を専門とする在宅療養支援診療所・サンメディカルクリニックを開設。

今までは医療と言えば、外来通院、ま
たは病院への入院が中心でしたが、これ
からは第 3 の医療として、「在宅医療」
の重要性も注目されています。

日本は超高齢化社会になりつつありま
す。高齢者が増えるということは、多死
の時代になるということ。一人の高齢者
が抱える病気も多岐にわたる可能性があ
ります。病気ごとに各科を幾つも回り、
診察を終えて薬をもらって帰るまでに 1
日作業になることも多く、ヘトヘトにな
ることもあります。病院ベッド数には限
りがあり、入院も容易ではありません。

本当の意味で専門医への受診が必要な
場合を除き、本人を一括して診察してく
れる医師の需要が増しつつあります。初
期の癌や急性疾患で積極的に治療にかか
る病院での医療とは別に、末期癌や高齢
に伴う慢性疾患など、うまく付き合っ
ていくべき疾患の患者さんについては、通
院だけではなく、在宅医療が有力な選択
肢になってきます。

元々、自分が生活して来た我が家は、
心地良いものです。どんなに旅行好きな
人でも旅行から帰って玄関に入ると、あ
るいは長く入院していた患者さんが入院
先から退院して自分のベッドに戻ると、
皆、「ああ、帰ってきた」と、ホッと一
息つくでしょう。どこに何が置いてあ
るのか、どう歩けばトイレに行けるのか、
たとえば夜中の薄暗い中でも、手探りで歩
いて行けるほど、自分に馴染んだ居場所
です。家にいると、聞き慣れた家族の声、
漂ってくる料理の匂い、周りのごくあり
ふれた日常生活品などに囲まれ、自分が
一番癒される空間でもあります。

在宅療養支援診療所は、文字通り、病
院から退院された患者さんが、あるいは

外来通院が困難になった患者さんが、自
分の家で如何に自分らしく生き、できる
範囲の治療を続けていくのか、その在宅
療養を支援するための診療所です。

病気の積極的な治療を希望される方、
通院出来る方は、地域の基幹病院や身近
なかかりつけ医を受診していただく事が
最も良い方法だと思います。しかし、病
状の悪化、体力の衰え等、様々な理由で
通院が困難になってくる患者さんがたく
さんいらっしゃいます。そんな時に、医
師が患者さんの自宅にお伺いし、必要な
医療支援を行う、これが在宅療養支援診
療所の大切な役割です。この場合、でき
る検査・治療には限界があり、病院と同
等とはいきませんが、限られた治療を継
続し、残された時間を自宅で自分らしく
過ごしていきたい、そんな患者さんには
十分にお役に立てる余地があります。

私の所に診療依頼が来る患者さんの例
として、例えば、癌の診断を受け、手術、
放射線療法、化学療法など長年にわたっ
て治療を続けてきたものの、残念ながら
病気は進行。体力の衰え、今まで耐えて
きた辛さを考えると、もう治療は受け
たくない、辛い症状を緩和しながら、ゆっ
たり自宅で自分の時間を持ちたい、そん
な相談が持ち込まれます。

また、今まで糖尿病、高血圧、あるい
は脳梗塞後遺症など抱えながらも何とか
通院してきたものの、通院自体が体力的
にきつくなった、できれば、家にいな
がら内服治療を継続したいなど、様々です。

その際、医師一人ですべてに対応出来
るわけではなく、ケアマネージャー、訪
問看護師、ヘルパーをはじめ、地域のた
くさんの関連職種の方々との連携も必要
になってきます。病院との連携も欠く事

は出来ません。また、患者さんを正面か
ら受け入れ、毎日向き合い、ケアをする
であろう家族の理解と協力は最も重要で
す。食事の世話、体位変換、トイレ誘導、
おむつ交換、痰引き、体温測定、与薬など、
日々患者さんのお世話をする中で、目の
前で刻々と変化していく病状に、不安や
恐怖を募らせることもあるかもしれませ
ん。病気を理解し、事態に向き合ってい
ただくために、その都度の説明、今後起
こりそうな病状変化の予測、起きた場合
の対処法、そしてどうしても判らないと
き不安なときには、24 時間いつでも連
絡が取れることを説明していきます。

訪問看護師や医師が必要に応じて足を
運び、在宅療養のお手伝いをしていくう
ちに、少しずつ家族の不安が払拭されて
いくこともよくあります。そうしていく
うちに、できるだけ家にいたい、最期ま
で家にいたい、死ぬときはこのソファか
このベッドがいい、など患者さんの希望
に添った療養生活を達成できることもよ
くあります。悩み、心配し、苦労した分、
最期の旅立ちを見送った後、「本人の希
望に添えて良かった」と、大きな充実感
を感じるご家族もたくさんいます。亡く
なった後、家族が看護師と一緒に清拭し、
本人のお気に入りの服を着せながら思い
出話に花を咲かせ、明るい笑い声が隣の
部屋で死亡診断書を書く私の耳に聞こえ
てきたことも決して少なくありません。

膨れあがる医療費、人口の高齢化と共
に、在宅医療の重要性は認識されつつあ
ります。どんな人間でも、生まれた瞬間
から死に近づいていきます。死ぬまでの
間、特に、死が近づいてきたら、それま
でをどう自分らしく生きるのか、よく考
えてみてはいかがでしょうか。

技術で明日を創造するバルブの総合メーカー

KITZ

株式会社キッツ

代表取締役社長
取締役
取締役

堀田 康之 (77回)
近藤 雅彦 (74回)
平島 孝人 (81回)

〒261-8577 千葉県千葉市美浜区中瀬1-10-1
TEL 043-299-0111 <http://www.kitz.co.jp/>

寄稿

「生きにくさ」を「生きる」

81 回生 林 義明

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、相談支援を行う、指定特定相談支援事業所の相談支援専門員。

映画「レインマン」…憶えていないほど小さい時に離れ離れになった兄弟。トム・クルーズ演じる弟が、遺産相続のために施設で暮らす兄に面会に来た。兄と視線が合わない。兄は独り言のように覚えていることを機械的に話している。だけど、床にばらまいてしまった爪楊枝の数を一瞬で数えてしまう。トランプの残りの山の内容を記憶できる。ダスティン・ホフマンが演じた高機能自閉症の兄。彼を施設から連れ出してその障がいや兄について少しずつ分かっていく弟。映画という短い時間の中でそれは見事に描かれています。

当時、私は自閉症についての情報があまり多くなかった時にこの映画を見て、こんな極端なことは「ありえない」と思っていました。でも、実際には高機能自閉症を含む広汎性発達障害のある人たちが「生きにくさ」を抱えながら町で暮らしています。今回「生きる」というテーマで、「障がい者を支えている」立場として原稿を依頼されました。障がい者の生きにくさについて考え、「生きやすさ」を考えてみたいと思います。

ひと口に「障がい」と言っても、身体障害や精神障害、知的障害や発達障害など、かなり広い範囲にわたって「障がい」といわれるものがあります。精神障害や発達障害を例にあげると、障がいそのものだけでなく「生きにくさ」が見えやすいと思います。

このところ、精神障害の手帳を取得する人や発達障害で手帳を取得する人が増えています。これらの障がいは、うつ病や統合失調症などの病気や脳の損傷など、器質的なものを原因としているわけですが、精神障害の手帳などを取得しても、

支えられるのは、主にその方の「生きにくさ」に対してです。それは病気や脳の損傷などそのものにもありますが、それ以上に、家族や学校・地域・職場での関係の中や社会一般の価値観との間にあるようです。

私が相談を受けている発達障害の方にはかなり高学歴な人たちがいます。非常に高いレベルの大学を卒業された方、そうした大学に入学された方、また卒業間際の方などです。彼らは、関わってきた専門的課題について答えを出すことに対してはすごく長けていますが、いざ就職のための面接となると、自分のペースでは話せるが相手の聞いたことに答えられない。聴かれている主題ではない部分が気になって的外れの話をしてしまう。質問のニュアンスを読めない。敬語が全く使えない。場違いな悪ふざけをしてしまう。そして、それらが原因で面接を落ちているのに、どうして落ちたかのが分からない、気づけない。こんな傾向が見られます。生きにくさは、求められているものとの差にあるのです。

団塊の世代の方は昭和 30 年代頃を思い出してもらおうとよくわかると思うのですが、当時の子供の世界では地域ごとにいわゆるガキ大将のグループがあって、グループの中では一人ひとり役割があったと思います。ガキ大将はあまり勉強出来ないけれど仕切り役。勉強ができるやつはその次くらいの位置で、ノコギリで板切れを切るのがうまいやつ、山の中ではすごい行動力を発揮するやつ、何も特技はないけれどいつもそこにいるやつ、などがいました。どんな子でも居場所があったのです。突飛なことをすると、戒められたり教えられたりする関係が

りました。当時は、発達障害に相当する子も、その子らしさが理解され役割を持って行動する中で、振舞い方を身につけてきたように思います。少しずつ広がっていく関係性の中で自分をわかりながら、周りに知ってもらうことができました。自然に理解され、互いに影響され合うことで、生きにくさが感じられなかったと考えられないでしょうか。

今は、誰でも平等だからと能力も個性も脇に置いて、誰もが同じスケールで基準を示され、役割を同じように担わなくてはならない。一見単純で分りやすく見えるけれど、そこには標準化という幅の狭い考え方があるように思われます。

障がいがある人は、自分のことが分かりにくい中で自分のことは自分で何とかしなくてはならない。周りと同じようにしようと頑張るけれどできないし、自ら気づき訂正するという苦手な作業を一人で担わなくてはならない。私には、器質的な部分以外の生きにくさを増幅されているように思えてしかたがないのです。

追い打ちをかけるように、日常的な関係も経済的な合理性が優先され、最小限の出力で最大限の見返りを求めるようなものになってきているように感じます。100 受け取ったら 120 返していくような「ややおせっかい」は損、と考えてしまうような感覚でしょうか。ですから、「生きにくさ」は、たとえ障がいがなくても感じます。

「生きやすさ」はそれぞれを認め合い、互いに「やや出し過ぎ」くらいの「おせっかいさ」で補ったり補われたり、それを抵抗なく受け止める関係が普通にある、「社交」が熟成された社会にあるのではないかと思います。

寄稿

「精神科の診察室から」

81 回生 岩崎 弘子

学んだことの唯一の証は変わることである。ある教育者のこの言葉は精神科診療にも通ずるのではないかと感じつつ、精神科医として日々の診療にあたっている。

大切なのは、異常か正常かという二分法で判断するのではなく、人にはそれぞれの価値観や行動基準があることを認め合い、尊重する姿勢。正常か異常かを明らかにするだけでは根本的な解決には繋がりません。

ところが、先の男性のように、白黒はつきりつけないと気がすまないという風潮が現代では強まっているように思います。異常か正常か、病気が病気ではないのか、障がい障がいではないのか。極端な健康志向もこうした傾向のひとつかもしれないと思うのですが、テレビ番組では健康番組が大流行。紹介される全ての健康方法を実行していたら、生活が立ちゆかなくなってしまうでしょう。

均一化や同一性が重んじられ、作業効率が重要な社会では、個性の強い人や障がいのある人々は排除されがちです。学校や職場ではこの排除の論理がいじめという形で顕在化することがあります。社会の強迫傾向が強まることで、発達障害者の生きにくさが顕在化してきたのかも知れません。そうした傾向は、戦前の全体主義に通ずる所があるようにも思え、私の危惧するところです。

先に述べたとおり、単なる診断のレッテル貼りをするだけでは、多数派という集団からはじき出される危険性があります。従って、レッテル貼りを委ねられただけの場合には、まず、診察をお引き受けするかどうかを検討します。本人、家族、第三者の意向を確認し、精神科でできることとできないことをお伝えし、本人・家族が納得した上で、診察を始めることにしています。

診断は何よりもまず、当事者のもの。

当事者の自己理解や対処法の獲得、周囲の理解や支援に繋がるのが大切だからです。できないことをお伝えするのは、医療で全ての問題が解決できるという幻想を抱かれている場合も時としてあるからです。子どもや若者のキレやすさに対し、薬で何とかありませんか、という相談の場合もこれにあたります。

診断は、始まりであって、ゴールではありません。目の前にいる患者さんはなぜ今精神科に来ておられるのか、それを一緒に考えていきます。

眠れない、不安が強い、落ち着かない、など何らかの症状が現れたのには、意味があります。それまでは自分のやり方で何とかやれていた患者さんが、そのやり方では対処できなくなっているための表現型としての症状だからです。患者さんは今、これまでのあり方や生活の見直しを迫られている。患者さん自身がやり方を見直したり視点を変えることで解決は可能か、周囲の環境を変える方がよいのか、薬物療法で精神症状を落ち着かせるほうが優先するのか。

個々の患者さんに応じて治療目標を考えるとき、世の中がもう少し寛容であってくれたら、と願いつつ、日々の診療にあたっています。

ここで、発達特性のある男性を雇用している老人福祉施設の施設長さんが言っていたことばを思い出しました。

曰く、「彼が調子を崩したときは、他の職員の疲労も溜まっているときなんです。彼は職場の健康度のバロメーターとして、貴重な存在です」と。

医療法人 新誠会

宮坂クリニック諏訪

院長 宮坂 誠 (82 回生)

〒392-0016 諏訪市豊田船戸3101番地24

TEL 0266-57-2700

FAX 0266-57-2788

みなさまに育てられた

信州・市民新聞グループ

諏訪・上伊那地域において
7つの新聞で街の話題をお届けしています。

代表取締役 **薩摩 建** (94 回生)
(本名：薩摩林 建)

〒394-0028 長野県岡谷市本町 3-8-30

購読 0266-22-8001 (遠方郵送可) 広告 0266-22-8000



母校の新たな時代を迎えて

同窓会長 松下 勲 (59 回)

平素は、本会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去る 4 月 5 日諏訪清陵高校附属中学校が開校いたしました。男女各 40 名で、男子は襟に水色・青・紫(諏訪湖・八ヶ岳・空)の三本ラインの入ったモダンな詰襟、女子は襟に S (清陵) の刺繍入りのセーラー服姿に、凛々しくも澁刺とした生徒たちの意気込みが感じられました。

個性、能力、適性など多様な生徒たちが、6 年間の学習や体験など系統的な教育課程をとおして、確かな学力を身につけ、強い意志と明確な進路意識を培い、伸び伸びと大きく育つようお願い、心からの期待と祝意を表しました。

中高一貫教育の導入は、母校にとっては戦後の教育制度施行以来の大改革ですが、教育は憲法と教育基本法を踏まえることはもとより、時代の変遷や社会の趣向、地域の要請などに応えられるよう適切な改革を推し進めることが求められます。本会としても、母校がより魅力のある学校となることを願い、これまで県外視察や学習会、知事・県教委等への要望など、導入や施設設備の充実に向けて積極的に取り組んできた経緯に鑑み、感慨も一入です。

開校に向けてこれまで多大なご協力・ご支援を賜りました会員各位に心からの感謝と御礼を申し上げます。

新校舎は、3 階建ての鉄筋コンクリート造りで、吹き抜けのゆとりある空間や県材山桜のムク材を敷き詰めたフローリング、檜の腰板など温もりのある校舎、そして、自然エネルギーの活用や省エネなど新時代に相応しいものとなりました。この陰には理科教育振興基金前理事長山崎壮一氏 (51 回) の物心両面にわたる並々ならぬご支援と建築家片倉隆幸氏 (78 回) の細部にわたる手厚いご助言があったことを銘記し、深く感謝申し上げます。附属中学校生徒達は、書家の渡部清氏 (56 回) 揮毫による品格ある校名板の下、輝かしい歴史を築いてくれるものと思います。

来る 27 年度は、母校創立 120 周年を迎えます。

その記念事業の一環として、昨年 7 月 (財) 諏訪清陵会より、母校の各教室に天井扇風機を 148 台設置しました。

同じく附属中学校の設備関係では、電子黒板付きプロジェクターやラウンジの備品、原雅幸氏 (39 回) よりご寄贈頂いた電子顕微鏡をデジタル化したものに換えての設置など、学習環境を整えました。また、同窓会員名簿発行については、現時点での購入希望者が少なく危惧しておりますが、個人情報絡みで今後発行は困難とも考えられますので、この際各位のご購入を是非お願いいたします。

クラブ活動後援会については、ご協力を頂き誠に有り難うございます。生徒諸君をはじめ諸先生方から大変有難い、と感謝のお声をお聞きしております。引き続き宜しくお願いいたします。結びに、会員各位とご家族の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。



進化し続ける諏訪清陵

学校長 石城 正志

このたび、諏訪清陵高等学校ならびに諏訪清陵高等学校附属中学校長に赴任いたしました。

本校には、平成 21 年から 23 年まで教頭として勤務させていただき、第 3 期 SSH の申請と認定、中高一貫教育の研究・検討の再開と導入決定、さらには原案作成にも関わらせていただきました。その私が、附属中学を開校し、第 4 期 SSH の申請を検討する、まさにその年に校長として戻ったことは、関わった仕事に最後まで責任を持つという天の思し召しなのだろうと思ひ、重い責任を感じております。

その決意については、開校式挨拶、入学式式辞として述べさせていただきますので、ここではその要旨のみを掲げます。

諏訪清陵の明治以来の伝統とは、古くから伝えられた価値を、よりよい形で現代に生かし、未来に伝えるため、目に見える形には拘らず、形式や形あるもの、時には自分自身をも破壊し、再創造することのなかにある。その価値の中身は何かといえば、それは、校風、校是、校歌として表現されているものを拠り所として自ら考え探し出すしかない。そのとき大切なことは、「実物に触れ、自分の頭で考えろ」という三澤勝衛先生の教えに立ち返ることである。(全文は、本校ホームページに掲載しています)

中高一貫教育については、佐倉副校長に説明の機会を与えていただきましたので、詳細はそちらに譲りますが、本校の中高一貫教育は、この伝統の発露として、明治以来大切にしてきた目に見えない価値を守り、未来につなぐために設立されたものと考えます。120 年の伝統につながりながら、最先端を目指す。とても古くてとても新しい。これが諏訪清陵の中高一貫教育であり、それこそが時代が求める教育なのだと確信します。

では、その清陵の伝統の担い手である清陵生の現状はどうでしょう。私は始業式で在校生に、「本校は 120 年の伝統を誇るが、伝統を感じさせる古い建物は一棟もない。なぜなのだろう？」と問いました。また対面式では、「本校には自治の伝統があるが、自治とは何なのか？ それは与えられるものか？ 勝ち取るものか？」と問いました。そして、自分なりの答えのある者は校長室を訪ねるようと呼びかけました。すると、その日のうちに 1 人、数日を経ずして 7 人の生徒が校長室を訪れました。そんな生徒たちに接し、私は安心いたしました。

先生方も同様です。初職員会で、自分の頭で考えることの出来る生徒の育成のための科学的、論理的説得力のある教育手法の研究・開発をお願いしたところ、すでにそのような取り組みが始まっていることを教えられました。

清陵精神はいまだ健在です。同窓生の皆様には、進化し続ける諏訪清陵の動向に御注目いただき、変わらぬ御支援をお願い申し上げ、御挨拶いたします。



お世話になりました

前校長 佐藤 尚登

同窓生の皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのことと拝察いたします。私こと、清陵高校での 3 年間の勤務を最後として、3 月末をもって県立高校教員を定年退職いたしました。

3 年前、震災直後で日本中が騒然とする中を清陵に着任したことを鮮明に思い出します。その年 1 月の県教育委員会定例会で清陵への附属中学校設置は決定していましたが、震災後の混乱の中で果たして予定通り計画を進めることができるのかといった不安もありました。それでも何とか開校に至ることができたのは、同窓生をはじめとする多くの方々の力強いご支援の賜物であり、心より御礼を申し上げます。

着任の年、同窓会報のご挨拶で、50 回生の皆様のご惠贈になる校長室のホール時計の文字盤に書かれた言葉、「Tempus Fugit」(ラテン語で「時は逃げる」という意味だそうです)を引いて、時を大切に中学校開校準備に取り組みたいということを申し上げました。振り返るとたしかに時は想像以上に速く流れ、終わってみれば 3 年間はあっという間だったように思います。

そして去る 4 月 5 日、開校式ならびに入学式に違う立場で参列させていただきましたが、新しい制服姿の新入生はとても澁刺としていて頼もしく、改めて附属中学校開設準備に携わることでできた幸運を思った次第です。さらに、新入生代表赤坂君の「私たち 80 人は思いを同じくする仲間とともに、将来の夢をかなえるため精進します」という宣誓を聞いたとき、不覚にも目頭がわずかながら潤んだことを白状します。それは清陵の新しい歴史が始まる瞬間でした。

しかし、一方で 120 年に及ぼんとする伝統も大事にしていかなければなりません。むしろ、伝統を大切にすることこそ新しいものが生まれてくるのだというべきかもしれません。日露戦争の帰趨を決することになった日本海海戦の作戦参謀秋山真之は、日頃から能島水軍の和綴じ戦術書を読んでいたそうです。同僚が「そんな古いものを読んでいるのか」とからかうと、「白砂糖は黒砂糖からできるものだ」と応じて恬としていたといいます。考えさせられる話だと思います。

4 月からは縁あって長野市立長野高校にお世話になっています。清陵とは歴史も校風も大きく異なる学校ですが、私たちの社会の未来を託す若者を育てるという点においては変わるところはありません。清陵で学ばせていただいた多くのことを市立長野の生徒諸君のために役立たせることが、お世話になった方々への恩返しであると肝に銘じ、励んでまいりたいと思っています。

お世話になり、本当にありがとうございました。



諏訪清陵高等学校附属中学校 開校

副校長 佐倉 俊

1 はじめに

平成 26 年 4 月 5 日、諏訪清陵高等学校は附属中学校を開校し、一期生の入学式を無事終えることができました。同窓会の皆様をはじめとする本校をお支えいただいている多くの皆様のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。さて、いよいよスタートしました諏訪清陵附属中学校、諏訪清陵中高一貫教育ですが、ここでその経緯や理念について、述べさせていただきます。

2 中高一貫教育の特色と種類及び本校の立ち位置

公立の中高一貫教育が制度化・導入されたのは、平成 11 年度 (1999 年度) からのことです。その目的は、中学校と高校の 6 年間で接続し、学校生活の中で計画的・継続的な教育課程を展開することで、生徒の個性や創造性を伸ばすことにあります。その特色は、①安定した環境の中で学校生活、②計画的・継続的な教育課程の展開、③6 年間にわたる生徒の把握による個性の伸長や優れた能力の発見、学年の異なる生徒同士による共通の活動を通じた社会性や豊かな人間性の育成、を挙げることができます。

ところで、中高一貫教育の形態には 3 種類あります。①一つの学校として 6 年間一体的に中高一貫教育を行う「中等教育学校」、②高校入学者選抜を行わずに同一の設置者による中学校と高校を接続する「併設型中高一貫校」、③異なる設置者による中学校と高校が教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施する「連携型中高一貫校」の 3 種類です。県内では、「中等教育学校」は松本秀峰しかありません。「併設型」は長野日大、清泉女学院、佐久長型などの私立や屋代、諏訪清陵の公立です。「中等教育学校」と「併設型」の違いですが、「併設型」の場合は併設型高校に併設型中学校から進学する生徒 (内進生) と市町村立中学校等から進学する生徒 (外進生) の両方が存在しますが、「中等教育学校」の場合は、高校段階からの入学生はありません。県教育委員会が設置を決定した諏訪清陵の中高一貫教育は、「公立」の「併設型」ということになります。

3 導入決定までの経緯

平成 25 年度現在、公立中高一貫校は、全国で「中等教育学校」29 校、「併設型」74 校が設置されています。平成 26 年度開校の諏訪清陵附属中学校は全国的には後発ですが、諏訪清陵高校では県教育委員会中高一貫教育検討委員会が公表した「中高一貫教育の導入について (ま



真新しい校名板

とめ)」(平成 13 年 3 月)の「併設型については平成 16 年度以降の設置を目指す」を受け、平成 13 年度及び 19 年度に中高一貫教育導入の研究・検討がなされてきた経緯があります。しかし諸般の事情により頓挫し、平成 20 年 3 月に中高一貫教育の検討を一旦停止しました。

その後、諏訪清陵高校では、平成 21 年 6 月に県教育委員会が策定した「第 1 期長野県高等学校再編計画」の「併設型中高一貫校の導入にあたっては、本県におけるモデルケースとして位置づけ、東北信、中南信に 1 校ずつ設置する」を機に、校内に「中高一貫教育研究委員会」を設置し、全国の公立併設型中高一貫校の視察と校内での検討を積極的に進め、平成 22 年 6 月に研究成果を「中間報告」として発表しました。この報告を受け平成 22 年 7 月に校長から「併設型中高一貫教育の導入」が提案され、本格的な審議に入りました。この間、諏訪地域の教育関係者及び PTA 代表により組織される「諏訪地区中等教育懇談会」は中高一貫教育研究委員会を設置し、併設型中高一貫校の設置について検討されました。研究委員会は平成 22 年 2 月に報告書をまとめ、公立中高一貫校について諏訪地区全体の学校における教育力の向上に資することを述べた上で「諏訪地区への設置を期待する」と提言、諏訪地区中等教育懇談会ではこの報告書は承認されました。また、諏訪清陵高校同窓会では平成 18 年に「母校の発展を支援する会」により県外の公立併設型中高一貫校 4 校を視察され、平成 22 年度 6 月総会にて「母校への中高一貫教育の導入を支持し、積極的に支援していく」旨、決定頂きました。

諏訪清陵高校では、さらに、学校ホームページにおける意見募集の結果も考慮して校内の議論を深め、平成 22 年

9 月に「併設型中高一貫教育を導入するための要望を県教育委員会に提出する」旨の結論に至り、10 月に要望書「長野県諏訪清陵高校への中高一貫教育の導入について」を提出

しました。県教育委員会は、これを受け、11 月の定例会において「中南信における併設型中高一貫校の設置計画(案)について」を発表して設置校を諏訪清陵高校とし、パブリックコメントを募集するとともに、12 月に諏訪市、伊那市、松本市の 3 会場で地域懇談会を開催しました。また、平成 23 年 1 月、諏訪清陵高校同窓会常任幹事会の決議を経て、県教育委員会教育長に併設型中高一貫教育の導入を積極的に推進してほしい旨の要望書を提出頂きました。同じ 1 月、長野県経営者協会からも、県教育委員会教育委員長に中高一貫教育導入の要望書を提出頂きました。そして、平成 23 年 1 月 27 日の第 919 回県教育委員会定例会に「中南信における併設型中高一貫校の設置計画について」が提出され、諏訪清陵高校への中高一貫教育の導入が正式に決定されました。

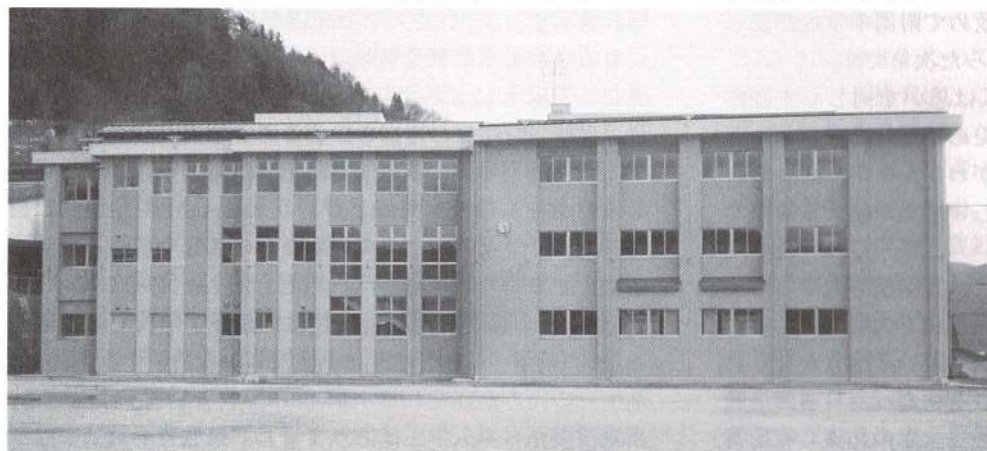
4 導入決定から開校までの経緯及び理念

平成 23 年度からは、校内に「中高一貫教育準備室」を開設するとともに、「中高一貫教育研究委員会」を「中高一貫教育検討委員会」に組織改変し、教育内容、施設の検討に入りました。

開校に向け、まず着手したのが「新校舎建設計画(基本設計)」です。校地が狭い中で運動場の広さ確保のため既存校舎(高校生棟北校舎)と新中学生棟との距離を狭くせざるを得ない状況があり、「暗い、寒い、圧迫感がある」という課題がありました。この課題にプロの建築家の同窓生の方々に図面や模型を作



校章が真ん中に輝く



諏訪清陵高等学校附属中学校校舎

地域と
歩み続けます



本社/〒392-8611
諏訪市高島3丁目1323-1
TEL 0266-52-2000

長野支社・伊那支社・東京支社
諏訪湖総支局・茅野総支局
松本支局・富士見支局
駒ヶ根支局・辰野支局

<http://www.nagano-np.co.jp>

成してもらうなど全面的に支援頂きました。学校は、それをもとに県教育委員会事務局へ要望を提出しました。また、諏訪清陵高校同窓会からも平成 23 年 7 月 15 日に、校地の狭隘さを克服した新校舎の建設(採光や暖かさに配慮した校舎)、自然エネルギーの活用(東日本大震災以降に建設される建物、太陽光発電、薪ストーブ等の活用)施設設備に係る要望書を、県知事並びに教育委員長、教育長に提出頂きました。このような要望をもとに県教育委員会と検討を重ねた結果、平成 26 年 2 月に完成しました中学生棟は、課題を克服したすばらしい校舎となりました。

＜校舎の特徴＞

〔縦と横のつながりがある空間〕

- ・校舎の中間にラウンジ、図書コーナーを設けクラス、学年を超えたつながりが可能。
- ・図書コーナー、相談質問コーナー、職員室につながるをもたせ、生徒と教員がいつでも会話のできる空間。
- ・普通教室、講義室の戸・壁を全開口式とし、廊下を含めたオープン教室としての利用や保護者・地域の方への公開・交流スペースとしての利用が可能。

〔エコスクール〕

- ・太陽光発電、空気集熱式パッシブソーラー(太陽熱利用)を採用し、省エネルギーとした。また、外断熱を採用し、窓は複層ガラス。
- ・階段吹き抜けに高窓を設け、自然光を取り入れるとともに、良好な風通し。

＜全体構想＞

平成 23 年度には「全体構想」を作成し、平成 24 年 県教育委員会定例会に報告、承認されました。(詳細:清陵



入学式の様子

附属中学校 Web サイト <http://suwaseiryo.sakura.ne.jp/>)

「全体構想」は、県立千葉中高、岡山操山中高、両国中高、広島中高など、全国の先進校 30 校以上の研究と本校の伝統、実態を踏まえ作成しました。

1 教育理念(長野県中高一貫教育の理念)

人の心の痛みのわかる豊かな人間性の涵養、伸びる力を伸ばす学力の向上などにより、さまざまな分野でリーダーシップを発揮することができ、社会のために貢献できる人材の育成を目指す。

2 教育目標

- (1) 明治 28 年以來の伝統に培われた「高い学力」「広い視野」「強い意志」を基礎に、21 世紀の社会に貢献できる優れた人材を育成する。
- (2) 生活全般を通して多様な経験を積む機会を設け、豊かな人間性や公共性、社会性を育む。

3 目指す生徒像

次のような観点の教育活動によって育まれる生徒像を目指す。

＜高い学力＞

- 将来の研究活動や社会貢献につながる重厚な教養主義による確かな知性の伸長
- 探究的な学習による深い思考力と主体的に学ぶ力の涵養



授業での 1 コマ

内科・外科胃腸科・整形外科・脳神経外科

医療法人
祐愛会

祐愛病院

理事長 辛 京硯(61回)
病院長 朱 尚孝(81回)

〒394-0033 長野県岡谷市南宮2-2-34
TEL 0266-23-0222 FAX 0266-23-2261

<広い視野>

○社会の人々とのふれあいをとおした、共同意識やコミュニケーション能力の育成

○幅広い年齢集団の交流を活用した、協調性や指導力の涵養

<強い意志>

○6年間の計画的な進路学習による将来を展望する構想力と自立心の育成

○様々な体験活動によるやり抜く精神力・体力や責任ある行動力の涵養

そして、「全体構想」ではこれらの教育方針を受け、諏訪清陵の中高一貫教育の6年間を「始める」「深める」「広げる」「高める」の4期に区分し教育活動を構想することとしました。特に中1の「始める」期を重視し、学習・生活習慣の確立や学びの意味の習得など6年間の基礎をしつかりと固めたいと考えました。また、諏訪清陵の中高一貫が「公立」であり「併設型」であるということを含みにできるよう構想したのが、内進生と外進生を混合する高校段階の学級・講座編成（ミックス）です。これは多くの中高一貫校で課題となっている「中2から高2までの長い中だるみ」や「少人数からの人間関係の固定化」に対応するためのものでもあります。また学習集団は、基本講座アドバンスト、スタンダードからなる習熟度別講座を展開し、成績に基づき半期ごとに編成し直すシステムを導入します。このシステムは「学習意欲の喚起、個に応じた学習」において多大な効果が期待できると考えました。この他、65分の充実した授業をベースに、毎日10分間の英語学習「Eタ



明るい図書コーナー・ラウンジ

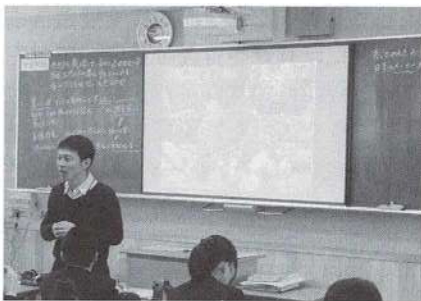
ーム」や総合的な学習の時間「アカデミック・コミュニケーション」、多彩な行事・体験学習などの様々な仕掛けを準備しました。このような中で、生徒たちが夢を育み実力をつけ、社会に貢献できる骨太なリーダーを目指して成長していくよう支援したいと考えています。

また、平成24年度には具体像として「6年間の学習指導計画」等を作成し、平成25年3月14日県教育委員会定例会に報告しました。

5 終わりに

附属中学校一期生は、同窓会の皆様からご寄贈頂きました丸テーブルと椅子のある図書コーナーで、本を読み、勉強し、友だちや教員と語らう一時を楽しんでいます。また、すべての教室に入れて頂きました電子黒板機能付きのプロジェクターにより、意欲的に学習に取り組んでいます。この他にも、校名板、電子顕微鏡の設置等、同窓会の皆様には多大なご尽力を賜り、すばらしい学習環境の中で教育をスタートさせることができました。ここに改めて感謝申し上げます。

職員一同、入学した生徒・保護者の皆さんが「清陵を選んでよかった」と思える学校づくりに、また同窓会の皆様が「清陵に附属中学校をつくり、中高一貫校にしてよかった」と思える学校づくりに、全力を尽くして参る所存です。一層のご理解とご支援をお願いする次第です。



電子黒板機能付プロジェクターを使った授業

原雅幸氏が電子顕微鏡寄贈

諏訪清陵高等学校附属中学校の開校を記念して原雅幸氏が電子顕微鏡2台を寄贈された。原氏は旧制諏訪中学校39回生で中学時代に科学会に入り、三澤勝衛先生の薫陶を受けて蝶の研究を始めた。その後、高校の教諭を勤めながら蝶の研究に一生を捧げた。寄贈された1台はJSM-5310型走査電子顕微鏡で、中学棟1階の技術準備室に設置され、中学生だけでなく高校生の理科及び課題探究授業に使用される。他の1台は、原氏が蝶の研究に30余年にわたり使用したJSM-T20型走査電子顕微鏡で、中学棟1階ラウンジの「電子顕微鏡展示コーナー」に設置されている。電子顕微鏡が設置されている中学校や高等学校は全国でも珍しく、活用の成果が期待される。(今井正喜副会長 記)



アスリートFA株式会社

代表取締役 山崎 晃(64回生)
取締役営業部長 藤森 義晴(80回生)

(事業内容)

半導体製造装置・組立装置(FA装置)の開発・設計・製造・販売

本社所在地 〒392-0012 諏訪市四賀2970-1
TEL:0266-53-3369 http://www.athlete-fa.co.jp
東京事務所 〒130-0013 墨田区錦糸1-2-17(カトリック5F-2)
TEL:03-6658-8250
関連会社 愛立発自動化設備(上海)有限公司
中国上海市欽州北路1122号90幢楼1-2F

LOGISTICS PARTNER



株式会社

天野回漕店

古川 修 (81回生)

藤森 純一 (111回生)

本社 〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町2-9-5

諏訪営業所 〒394-0021 長野県岡谷市郷田1-3-1

TEL 0266-22-2533 FAX 0266-22-1350

平成 26 年度同窓会報「学校だより」

平成25年4月4日、新入生245名(男子133名、女子112名)を迎え、全校生徒732名(男子423名、女子309名)、教職員69名で、平成25年度がスタートしました。この1年、生徒たちは勉学に、クラブ活動に精一杯取り組み、それぞれの成長を果たしました。そんな生徒たちの活躍を中心に、この1年間の学校の様子をお届けします。

運動系クラブ

■野球部：夏の全国高等学校野球選手権長野大会ベスト16

■春の高等学校総合体育大会県大会出場：陸上部、剣道部、女子バスケットボール部、ソフトテニス部、男子硬式テニス部、女子硬式テニス部、卓球部、端艇部、サッカー部、ハンドボール部、水泳部

<陸上部>

●窪田章吾君(2年)：男子走幅跳＝県2位、北信越6位、インターハイ出場、男子三段跳＝県3位、北信越出場 ●倉橋由宇君(3年)：棒高跳＝県2位、北信越出場

<ソフトテニス部>

●小池陽介君(2年)・花原毅君(2年)：県3回戦進出、北信越出場

<端艇部>

●伊東壮十郎君(2年)：男子シングルスカル＝県1位、北信越6位、インターハイベスト16 ●小松拓磨君(3年)：男子シングルスカル＝県2位、北信越出場 ●大内泰紀君(3年)・両角仁矢君(3年)・小林優斗君(2年)・宮下優矢君(3年)・小川晃寛君(2年)：男子クオドルブル＝県2位、北信越出場 ●岡部萌子さん(3年)・小口佳代さん(3年)：女子ダブルスカル＝県1位、北信越4位、インターハイ出場 ●土屋恵さん(3年)・高橋沙恵さん(2年)・入江彩加さん(3年)・小林優帆さん(3年)・小池優さん(3年)：女子クオドルブル＝県1位、北信越4位、インターハイベスト16

<水泳部>

●松澤光希君(3年)：50m自由形＝県2位、北信越8位、100m自由形＝県3位、北信越8位、200m自由形＝県6位、北信越出場 ●春日亮君(2年)：200m個人メドレー＝県7位、北信越出場 ●松澤光希君(3年)・春日亮君(2年)・松澤亘希君(1年)・小口健吾君(3年)：400mフリーリレー＝県5位、北信越出場 ●上條瑞歩さん(1年)：50m自由形＝県6位、北信越出場

■秋の高等学校新人体育大会県大会出場：陸上部、剣道部、男子バスケットボール部、男子硬式テニス部、ソフトテニス部、バドミントン部、卓球部、端艇部、ハンドボール部、水泳部

<陸上部>

●窪田章吾君(2年)：走幅跳＝県2位、北信越5位 三段跳＝県2位、北信越4位 ●辛山勇太君(2年)：三段跳＝県4位、北信越出場 中村龍士君(1年)：走幅跳＝県6位、北信越出場 三段跳＝県5位、北信越出場 ●巻潤優也君(1年)・伊藤和輝君(1年)・守住望君(1年)・窪田章吾君(2年)：男子4×400mリレー＝県5位、北信越出場

■選抜大会県大会出場：剣道部、ソフトテニス部

■中部高等学校選抜競漕大会出場：端艇部

●高橋沙恵さん(2年)：女子シングルスカル2位、全国選抜大会出場 荻須一郎君(2年)・宮坂岳宏君(2年)・小林優斗君(2年)・小川晃寛君(2年)・白砂元海君(2年)：男子クオドルブル ●吉池秋里さん(1年)・青木紗耶さん(1年)・落合ゆきさん(1年)・青木瑞季さん(1年)・井出香葉子さん(1年)：女子クオドルブル ●名取公甫君(2年)・塩原慶己君(2年)：男子ダブルスカル

文化系クラブ

■美術部：長野県高等学校美術展で七倉有里さん(2年)の作品「憧れ」が県代表推薦作品として平成26年度全国高等学校総合文化祭に選出。

■古典ギター部：全国高校ギター・マンドリンコンクール(大阪府)に出場し努力賞受賞。長野県高等学校ギター・マンドリンフェスティバルで優秀賞受賞、2014年度全国大会への出場決定。

■書道部：味澤梨香さん(2年)が書道県展で最高賞(特選)受賞、全日本高等学校書道コンクールで「礼器碑」「書譜」準部門賞受賞、信州書道展で諏訪大社賞受賞。信州書道展で団体「最優秀校」受賞(6年連続)。平成26年度全国高等学校総合文化祭への県代表出場権獲得(2年ぶり)。

■音楽部：長野県学校合唱大会で銀賞受賞、長野県合唱コンクールで銅賞受賞。

■吹奏楽部：長野県アンサンブルコンテスト高等学校部門県大会でクラリネット6重奏(矢口・矢澤・矢島・熊澤・原・宮坂)が銀賞受賞。管楽器個人・重奏コンテスト長野県大会個人の部で荒井夏実さん(1年)がフルート独奏で金賞受賞、3月の本大会(石川県小松市)で2位にあたる中部日本吹奏楽連盟理事長賞受賞。

■かるた部：全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会に出場。全国かるた競技北国大会に出場。北信越高校かるた選手権大会長野県チーム選手選考大会で伊東慎介君(2年)がベスト8に入り本選出場。長野県高等学校総合文化祭かるた大会で湯澤佐都子さん(1年)が中級の部で1位。

■文学部：長野県高等学校総合文化祭文芸コンクール散文部門で富樫望美さん(3年)の「空に翔る」が佳作受賞。

■ダンス部：長野県高等学校総合文化祭ダンスフェスティバルで第7位入賞。

学友会行事

4月の対面式、新入生歓迎会、歓迎乗艇、クラスマッチにはじまった学友会行事は、清陵祭で最高潮に達し、その後2年生へと引き継がれ、伝統の端艇大会、湖周マラソン、クラスマッチ等を行いました。

第63回清陵祭は、7月5日(金)から4日間行われました。

1日目(前夜祭)は、仮装コンテスト、談話会、美人(女装)コンテスト、有志ステージ等のイベントが行われました。

2日目は開祭式から討論会に続き、午後から翌3日目にかけて一般公開になり、多数の方が来校されました。各教室、ステージにおいて文化系クラブ、SSH等による展示発表や演奏などが展開され、目の肥えた客からも高い評価を受けています。またモンスペースを中心とした娯楽企画や喫茶、運動系クラブのOB戦などが活発に展開されました。

4日目は、午前中は合唱コンクール、午後は運動会が行われました。いずれも3年生が受験勉強による鬱憤を晴らすかのような圧倒的なパフォーマンスをみせました。夕刻からは、閉祭イベントとして恒例のファイヤーストーム。炎とともに青春の想いを燃え上がらせ、旋回し、例によって最後は泥まみれとなり幕を閉じました。

なお、清陵祭に先立って2年に1回行われている「立て御柱」においては森林組合はじめ多くの地域の皆さまからご助力をいただきました。

端艇大会は、9月2日(月)、下諏訪漕艇場において開催されました。開始時点から雨が激しく、半ば強行にスタートしましたが、全予選レース終了時点で続行困難となり、残念ながら予定していた決勝レースは断念せざるを得ませんでした。それでも清陵ならではのこの行事を、新しい学友会役員と執行委員会それに端艇部の協力により遂行できたことは大なる成果だったといえましょう。決勝ができなかったため、予選レースでのタイムにより順位を確定し、3年生が経験による強みを発揮する結果となりました。

伝統の湖周マラソンは今年ついに100回目を迎え、10月24日(木)に実施されました。秋晴れのもと、今年も多数のOBランナーの参加を得、現役生とともに健脚を競いました。当日は、大会の創始者である山本喜市先生の次女・塚原キヨさん(99歳)も応援に駆けつけてくださいました。同窓会からは、100回記念として「自反而縮雖千萬人吾往矣」とプリントされた立派なマフラータオルを作製していただき、全参加者に配布されました。また「うしまさ坂」では、恒例のレモン配布を「うしまさ坂の碑保存会」の皆さまを中心に行っていました。男子は伊藤航平君(3年)が優勝し、女子は岩波宏佳さん(3年)が3連覇の偉業を達成しました。

さて、出身中学校により組織される「地方会」活動は昨年度をもって解散となり、かわって校歌指導や校風発揚を司る組織として「文化生活委員会」が新たに発足しました(文化委員会からの改称)。併せて交通安全や駐輪場管理にかかわる役を担っており、本校の自治精神の具現化に寄与するものとして今後の活躍が期待されることです。平成26年度は附属中学校の「学友会」との共存共栄がさらに求められ、新しい学友会の姿を構築する大事な節目となりそうです。

今井整形外科

院長 今井 智彦(78回生)

〒394-0081 岡谷市長地権現町 3-2-12

TEL 0266-28-9933

今井内科・胃腸科
クリニック

岡谷市今井1211

☎ (0266) 24-8688
FAX (0266) 24-4388

今井清泰(80回生)

学校行事・授業など
学校では、春と秋、土曜日に授業公開を行っています。秋の授業公開(10月21日)にあわせてPTA講演会が行われました。本年度も人権教育係との共催で実施し、NPO法人マザーボート・ながの理事長の中島直美氏を講師にお招きし、「高校生とネット利用」と題して、インターネットや携帯・スマホの利用の仕方や留意点についてご講演いただきました。なお、平成26年の授業公開は5月24日(土)、10月18日(土)です。興味のある方はぜひ御参加ください。

また、毎年分野別に多くの講師の方をお迎えして行われるキャリア講演会(1学年主催)では、同窓生である、原田昌彦氏(83回 東北大学大学院農学研究科・農学部准教授)にも昨年に引き続きご協力いただきました。

スーパーサイエンスハイスクール (SSH)
SSHは、平成22年度より新たに5年間の指定をうけ、3期目の4年目となる活動に取り組みました。主な活動は、SSHコース生徒(3年30名、2年26名)による課題探究とその成果の発表、大学・企業との連携講座(10回)、海外科学セミナー(アラスカ研修)、清陵サイエンスフォーラム21でした。全校生徒が参加し地域にも公開している「清陵サイエンスフォーラム21」は、次の3回を実施しました。

- 第41回 4月13日
「インターネットと天文学」 中嶋浩一(一橋大学名誉教授)
- 第42回 7月20日
「宇宙人文学」 中野不二男(京都大学特任教授)
- 第43回 12月21日
「ロボットとコンピューターで探る昆虫の感覚と脳と行動の不思議」 神崎亮平(東京大学先端科学技術センター教授)

11月に行われた「第3回信州サイエンステクノロジーコンテスト」では本校1・2年生から4チームが出場して、Aチームが総合第2位、Bチームは数学部門で1位となりました。一昨年の優勝には届きませんでしたが、参加したメンバーにとってはたいへん充実した大会となりました。長野県学生科学賞では、岩波四季恵さん(3年)が「ミルククラウン形成のしくみ」で第1席に相当する長野県知事賞、守屋友一朗君(3年)・春日伸君(3年)が「守屋山のカキ化石」で優良賞、金子海渡君(3年)をはじめとするSSHコースおよび天文気象部の諸君が「高高度スプライト現象」で優良賞を獲得しました。「守屋山のカキ化石」の第一報は日本古生物学会でも佳作を受賞しました。また、全国高校生生物オリンピックでは、2年生2名が優良賞を獲得しました。

なお、平成25年度からは1,2年生には全員必修の「SSH情報」、2年SSHコースには「科学英語入門」という学校設定科目を設けて実施しました。また、1年生全員がキャリア教育の一環として、地域の最先端技術産業研修や諏訪圏工業メッセの見学を実施し、そこにテーマを見出して課題研究を行いました。その他、SSH事業では地域への還元事業も実施しており、諏訪市児童センターの協力を得て、児童生徒を対象とした「わくわく理科教室」、近隣高校生を対象とした「遺伝子操作実習」などを実施しました。

3月1日(土)第66回卒業式が行われ、243名(男139名、女104名)が旅立ちました(117回生)。進学先は表のとおりです。
また、3月24日(月)の離任式では、佐藤高登校長先生をはじめとして13名の先生方をお送りしました。(職員の関係では、数学科非常勤講師として教鞭をとられていた窪田孝美先生が、平成25年7月23日にご病氣のためご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。)

平成 25 年度末 教職員人事異動		
転・退職職員		新任職員
氏名	転出先等	氏名 前任校等
佐藤 尚登	長野市立長野高校	石城 正志 高遠高校
郷原はるか	梓川高校	坂本 侑哉 新規採用
古屋 彰士	甲府第一高校	国語 平澤 芳郎 松本県ヶ丘高校
菊池 玲子	諏訪二葉高校	松野 志保
佐藤 順	下諏訪向陽高校	阿部 訓久 松本深志高校
二本 明	岡谷南高校	清沢 創一 新規採用
堀内 哲男	松本深志高校	地歴公民 野村 一寿 岡谷東高校
小松 清實		南山 清高 松本深志高校
濱 勝彦	岡谷南高校	数学 笠原 勇貴 箕輪進修高校
濱 恒弘	伊那弥生ヶ丘高校	清水 彰男 駒ヶ根工業高校
		理科 山岡 淳一 野沢北高校
清水 一央	岡谷東高校	保健体育 守矢 秀明 諏訪実業高校
		土井 康司
畠山 忠史	松本深志高校	英語 三尾 満子 塩尻志学館高校
		瀬戸 雅子 富士見高校
	中学・国語	武井 淳子 永明小学校
	中学・社会	保科 潔 豊科北中学校
	中学・数学	齊藤 芳樹 神明小学校
	中学・英語	後町 智史 富士見中学校
	中学・技術・家庭	鳥居 正人 本務校：上諏訪中学校
篠原 尊	事務	有賀 敬子 諏訪地方事務所税務課
	校用技師	小平 友明 諏訪実業高校

平成 25 年度 (2013 年度) 入試結果 (平成 26 年 4 月現在)
卒業生：243 就職者：0 進学者：170 進学率：70.0%

国立大学	現役生	過卒生	合計
北海道	2		2
東北		1	1
茨城		1	1
筑波	2	2	4
宇都宮		1	1
群馬		1	1
埼玉	3		3
千葉	6	2	8
お茶の水女子	1	1	2
電気通信	2	2	4
東京		1	1
東京学芸		2	2
東京農工	1		1
一橋		1	1
横浜国立	3	2	5
新潟	1	2	3
金沢	4	2	6
山梨	4	2	6
信州	19	4	23
静岡	2		2
名古屋	2		2
三重	1		1
京都		2	2
大阪	1		1
神戸	1		1
奈良女子	1		1
広島		1	2
山口	1		1
九州		1	1
合計	58	31	89

公立大学	現役生	過卒生	合計
茨城県立医療	1		1
群馬県立県民健康科学	1		1
高崎経済	2		2
首都大学東京	2		2
横浜国立	3		3
新潟県立	1		1
石川県立	1		1
福井県立	1		1
都留文科		1	1
長野県看護	1		1
岐阜薬科	1		1
静岡県立	1		1
名古屋市立	1		1
兵庫県立	1		1
長崎県立	1		1
合計	18	1	19

文科省所管外	現役生	過卒生	合計
合計			0

国公立短大	現役生	過卒生	合計
大月短大		1	1
合計		1	1

私立短大	現役生	過卒生	合計
青山学院女子短大	1		1
上智短大		1	1
平成医療短大	1		1
合計	2	1	3

専門各種学校	現役生	過卒生	合計
諏訪市医師会附属准看護学院	1		1
合計	1		1

海外の教育機関	現役生	過卒生	合計
Australian Conservatoire of Ballet	1		1
合計	1		1

私立大学	現役生	過卒生	合計
国際医療福祉	3	1	4
高崎健康福祉	2		2
城西	2		2
獨協	4	1	5
文教	3	2	5
神田外語	2		2
淑徳	1		1
城西国際	1		1
千葉工業	4		4
青山学院	2	2	4
亜細亜	3		3
桜美林	5		5
大妻女子	2		2
北里	3	2	5
共立女子	2		2
杏林	6	1	7

慶應義塾	3	3
工学院	3	1
國學院	1	1
国際基督教	1	1
国士館	2	2
駒澤	5	5
駒沢女子	1	1
実践女子	3	3
芝浦工業	2	8
順天堂	1	1
昭和女子	1	1
上智	1	1
成蹊	3	3
成城	2	4
専修	9	2
大正	2	2
大東文化	4	4
拓殖	3	3
玉川	1	3
中央	5	8
帝京	3	1
東海	2	2
東京音楽	1	1
東京家政	4	4
東京経済		2
東京工科	4	1
東京工芸	2	5
東京慈恵会医療		1
東京女子	2	2
東京電機	3	2
東京都市		1
東京農業	1	1
東京薬科	1	1
東京理科		10
東邦	4	4
東洋	3	4
二松学舎		1
日本	11	7
日本社会事業	1	1
日本女子	3	1
日本女子体育	1	1
日本体育		1
文京学院	1	1
法政	6	10
武蔵野	1	1
武蔵野美術		1
明治	5	6
明治学院	2	1
明治薬科	3	1
立教	5	2
立正	2	1
早稲田	5	6
神奈川	3	1
神奈川工科	1	1
関東学院	3	3
洗足学園音楽	2	1
フェリス学院	1	1
新潟工科	1	1
金沢工業	2	4
健康科学	1	1
山梨英和	1	1
山梨学院	1	1
佐久	1	1
諏訪東京理科	3	1
長野	1	4
松本	1	1
常葉	1	1
愛知学院	4	2
中京	1	1
豊田工業		1
人間環境	2	2
藤田保健衛生	2	2
名城		2
南山	1	1
日本福祉	5	5
京都外国語	1	1
京都学園	2	2
京都産業	5	5
京都女子		1
京都文教	1	1
同志社	4	4
龍谷	2	2
立命館	5	12
近畿	1	2
関西学院	1	2
奈良	1	1
山口東京理科		1
立命館アジア太平洋	1	1
合計	233	136

平成 25 年度 定期総会の記

昨年の総会準備・運営・会報編集にあたり、80 回生のみなさん、またその他多くの同窓生にご協力いただき本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

講演会に代わる特別企画として行ったパネルディスカッションですが、懇親会の席で先輩方からお褒めの言葉をかけていただき本当にうれしかったです。

パネルディスカッションは、「学校知から社会知へ ～社会が必要とする真の学力・人間力を求めて～」というタイトルで、大きな転換期を迎えようとしている母校に対してできる限りのエールを送りたい、という思いを持って計画したのですが、4 名のパネリストたちは 100% 本音で、清陵がどう自身を作ったか、社会に出てからのポジティブ・ネガティブな経験、そして清陵に対する愛情と期待を語り、母校とこれから社会に出て行く同窓生たちへの素晴らしい贈り物になったのではないかと自負しています。

最近、中央大学教授山田昌弘氏の「なぜ日本は若者に冷酷なのか」という本を読み、暗い気持ちになりましたが、少なくとも清陵同窓会にはそれはない、今後も後輩たちをできるだけサポートしたい、と思っています。

また、ディスカッションの抜粋を会報に載せ、現役生に配布していただいた東京清陵会のみなさまにも御礼申し上げます。

大役を終えた後、同じ会場で 80 回生の二次会が盛大に

公益財団法人 諏訪圏学校理科教育振興基金について

事業等の報告

当基金(略称理振)は清陵高校の理科教育に関する研究を奨励援助し、その振興に寄与することを目的として発足。その後その対象を諏訪地域等の高等学校、中学校へと広げ、平成 23 年 4 月 1 日「公益財団法人」として認可を受け、現在に至っております。

現在は助成事業として、諏訪地域の高等学校(SSH 指定校 = 清陵高校)及び諏訪地域等の中学校(18 校)に対し理科教育等の振興のための助成金の支給を実施しています。また、助成事業の成果は毎年「理科研究収録」としてまとめ、その足跡を残しております。

昨年度(平成 25 年度)は助成事業として、高等学校に対し 2,766 千円、中学校に対し 1,671 千円の助成金の支給を実施致しました。昨年度

は特に今年度開校の諏訪清陵高等学校附属中学校の支援にも繋がる事業として、諏訪清陵高等学校に対し電子顕微鏡の設置の助成金支給もあり、例年より多額な支援となりました。

今年度は高等学校に対し 60 万円、中学校に対し 70 万円の助成事業を予定しております。

尚、今年度より中学校に対する助成を順番制から応募制に変更し、より積極的な当基金の利用を中学校に働きかけております。

財政基盤強化のお願い

当基金はこれまで幾多の先達から賜った貴重な寄付金を「基本財産」とし、その運用益で運営してまいりました。昨年も 1 名の方から 30 万円の寄附を賜りました。感謝です。

昨今の経済状況では、高金利、高利回りは期待できず、「基本財産」

常務理事 石城 祐吉 (62 回生)

の運用益だけでは十分な事業運営が難しくなってきました。「基本財産」の運用益により公益事業を継続して行く為には、運用財源の「基本財産」を増強することで対応するしか方法はありません。

つきましては、同窓生の方々に、「諏訪地域等の理科教育」振興のためのご協力をお願いする次第です。公益財団法人の認可を受けたことにより税法上、個人の場合は所得控除、法人の場合は損金算入等の特典があり、寄附をしていただき易くなっております。

詳細につきましては以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

【連絡先】

常務理事 石城祐吉 (62 回生)
携帯 090-2233-6558
自宅 0266-52-4635



平成 25 年 6 月 29 日、同窓会総会の後にはパネルディスカッションが行われた

平成 25 年度 諏訪清陵高校同窓会 会務報告

4. 4 諏訪清陵高校第 119 回生入学式
新入生 243 名 松下会長祝辞 今井副会長出席
新入生に「校歌」CD と「清水ヶ丘にうたう」
DVD を贈る
4. 16 第 1 回名簿委員会 (13:00 清陵会館)
4. 19 母校への着任教職員歓迎会 (18:00「ぬのはん」)
今井副会長 事務局長 出席
4. 27 上伊那支部総会 (15:00「たつのパークホテル」)
松下会長 守屋教頭 事務局長出席
5. 7 (一財)諏訪清陵会会計監査・同窓会会計監査(13:
30 清陵会館)
河西節郎監事 鮎沢茂登監事 松下会長 今井副
会長 石田清陵会書記 事務局長 出席
5. 25 (一財)諏訪清陵会理事会 (11:30 清陵会議室)
平成 24 年度事業報告 収支決算の承認
同窓会常任幹事会 (13:30 清陵会議室)
幹事会提出議案審議
同窓会幹事会 (15:30 清陵会館)
平成 24 年度事業 会計決算承認
平成 25 年度事業案 予算案承認
母校創立 120 周年記念事業について
母校中高一貫校の経過と今後について
その他
懇親会 (17:30 清陵会館)
6. 27 「清陵同窓会報」(第 39 号)完成発送 20,399 通(ヤ
マト運輸)
6. 29 定期総会 13:30 「ホテル紅や」(議長 金井・
水野支部長)
平成 24 年度事業報告 会計決算報告 監査報告
一般会計 一般基金 会報特別会計 会館維持
特別会計
清陵クラブ同窓会後援会特別会計
平成 25 年度事業案 予算案承認
母校創立 120 周年記念事業について
母校中高一貫校の経過と今後について
(一財)清陵会についての報告 その他
パネルディスカッション
テーマ 学校知から社会知へ
～社会が必要とする真の学力・人間力を
求めて～
パネリスト
有賀修二氏 中村雅彦氏 野曾原悦子氏 安
川昌昭氏
8. 24 幹事学年引継会 18:00「山本や」(80 回生か
ら 81 回生へ)
松下会長 事務局長 80 回生、81 回生 合計
14 名出席
9. 7 原支部総会 (11:00「樅の木荘」)
松下会長 守屋教頭 事務局長 出席
八ヶ岳美術館見学 (小泉館長 解説)
9. 12 第 2 回 名簿編集委員会 (13:00 清陵会館)
10. 8 故今井重雄氏 遺志金受領 11:00
清陵会館
故今井氏ご母堂様 86 回生 伊藤実氏 会長 副会
長 学校長 平島事務局長 7 名出席
10. 18 東京清陵会 (東京支部) 総会
(18:00「アルカディア市ヶ谷」)
松下会長 学校長 出席
10. 24 母校湖周マラソン OB20 名参加
「うしまさ坂」にて応援
第 100 回記念 生徒および参加 OB に マフ
ラータオル贈呈
11. 7 第 3 回名簿委員会 (13:00 清陵会館)
11. 9 物故会員および道志社先輩の慰霊法要 (11:00
地蔵寺)と常任幹事会 (臨時)を開催
松下会長 佐藤学校長 副会長 監事 常任幹事
他 21 名出席
母校創立 120 周年記念事業について
清陵附属中学校について
母校「助成基金特別会計」について
(今後毎年「11 月第 2 土曜日」に 慰霊法要と
常任幹事会を予定)
11. 15 諏訪支部総会 (18:00「諏訪シティホテル成田
屋」)
松下会長 佐藤学校長 事務局長出席
講演 「世界に愛される日本の食事
－その現状と課題－」
講師 大島一二氏 (81 回)
○伊藤八郎 (68 回) 支部長退任 後町泰昭 (68
回) 支部長就任
11. 30 松本支部総会 (16:00「ホテルモンターニュ松本」)
松下会長 学校長 出席
12. 10 第 4 回名簿委員会 (13:00 清陵会館)
2. 10 附属中学校校名板 除幕式 13:30
会長 副会長 出席
双樹会 (52-55 回) 寄付 受領式 14:00
出席 双樹会役員 3 名 会長 今井副会長 矢崎
常任幹事 事務局長 7 名
予算編成会議 14:30 会長 副会長 矢崎常任幹事
事務局長 出席
2. 8 茅野支部総会 (15:30「マリオローヤル会館」)
佐倉教頭 出席
講師 柳平千代一氏 (75 回)
2. 4 三澤文庫委員会 13:00
2. 14 岡谷支部総会 (18:30「ホテル岡谷」)
学校長 事務局長 出席
2. 21 北信支部総会 (18:00「ホテル国際 21」)
松下会長 佐藤学校長 出席
2. 22 (一財)清陵会理事会 (11:30 清陵会議室)
平成 26 年度事業計画 収支予算の承認 その他
常任幹事会 (13:30 清陵会館)
幹事会提出議案審議
幹事会 (15:30 清陵会館)
平成 25 年度会務中間報告
平成 26 年度事業計画案 予算案について
母校創立 120 周年記念事業について
清陵高校附属中学校について その他
平成 26 年度会報発行および総会について
役員改選 その他
2. 23 富士見支部総会 (15:00「大奥」)
松下会長 佐藤学校長 出席
3. 1 母校 117 回生卒業式
卒業生 243 名 松下会長祝辞 今井副会長 出席
同窓会から会長のメッセージを添えて卒業記
念「印鑑セット」を贈呈
3. 2 関西支部総会 (11:00「大阪第一ホテル」)
松下会長 守屋教頭 出席
講演 「私の万葉集」
講師 上島武氏 (57 回)
3. 20 第 5 回名簿委員会 (13:00 清陵会館)
北原克彦新委員 (69 回) 出席
3. 24 母校転退職員送別会 (18:00「浜の湯」)
松下会長 今井副会長 事務局長 出席
会長挨拶 同窓会より饗別

平成 25 年度同窓会一般会計決算書 (案)

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

収 入 総 額 11,059,648 円
支 出 総 額 10,642,407 円
次年度繰越額 417,241 円

I 収入の部 (単位:円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
前年度繰越金	541,303	541,303		
入 会 金 収 入	1,205,000	1,220,000	△ 15,000	新入生 244 名
終 身 会 費 収 入	4,820,000	4,880,000	△ 60,000	新入生 244 名
寄 附 金 収 入	0	1,400,000	△ 1,400,000	遺志金 (今井重雄、 窪田孝美)・双樹会
受 取 利 息 収 入	15,000	1,010	13,990	
物 品 販 売 収 入	25,000	14,600	10,400	校歌 CD、清水ヶ丘に うたう DVD 他
そ の 他 雑 収 入	20,000	2,735	17,265	宛名シール代
基本財産取崩収入	4,000,000	3,000,000	1,000,000	
収 入 合 計	10,626,303	11,059,648	△ 433,345	

II 支出の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
土曜講座助成支出	2,300,000	1,950,000	350,000	土曜講座自反会助成
SSH 事業助成支出	300,000	270,000	30,000	SSH アラスカ研修補助
その他助成支出	1,170,000	1,685,432	△ 515,432	卒業記念品、中学開校 記念品・フォーラム 湖周マラソン 100 回 記念品、電子顕微鏡
(一財)諏訪清陵会寄附支出	500,000	500,000	0	財団運営費補助
定期総会費支出	350,000	331,523	18,477	
支部活動奨励金支出	500,000	410,000	90,000	支部総会開催日調整
その他事業支出	95,000	23,045	71,955	
会報会計繰出金支出	1,800,000	1,800,000	0	
会館維持会計繰出金支出	50,000	50,000	0	
母校助成基金繰出金支出	1,500,000	1,500,000	0	諏訪清陵会寄付減額 分積立 (新規)
給料手当支出	480,000	510,000	△ 30,000	事務局長給料+特別手当 3 万円
会議費支出	200,000	247,545	△ 47,545	役員会、委員会
旅 費 支 出	500,000	502,410	△ 2,410	役員会交通費、支部総会出張旅費
事務所費支出	840,000	862,452	△ 22,452	通信費、備品費、事 務消耗品、慶弔費
予 備 費 支 出	41,303	0	41,303	
支 出 合 計	10,626,303	10,642,407	△ 16,104	
次年度繰越金	0	417,241	0	

平成 25 年度 諏訪清陵高校同窓会基本財産目録

基本財産 31,408,678 円 (平成 26 年 4 月 27 日 現在)
(内訳) 定期預金 諏訪信用金庫 3,100,791 円 30,007,691
同 八十二銀行 1,400,987 円

平成 25 年度 母校助成基金

基本財産 1,500,000 円 (平成 26 年 3 月 31 日 現在)
(内訳) 定期預金 八十二銀行 1,500,000 円

平成 25 年度 同窓会報 特別会計決算報告 (案)

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

収入額 2,678,865 円 (繰越金 一般会計より繰入金 広告収入等)
支出額 1,873,195 円 (会報 39 号編集印刷費 発送料等)
差引残額 805,670 円 (平成 26 年度へ繰越)

平成 25 年度 清陵会館維持 特別会計決算報告 (案)

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

収入額 1,218,360 円 (繰越金 繰入金 利息)
支出額 199,500 円 (エアコン)
差引残額 1,018,860 円 (平成 26 年度へ繰越)

平成 26 年度同窓会一般会計予算書 (案)

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

収 入 総 額 8,163,000 円
支 出 総 額 8,163,000 円
次年度繰越額 0 円

I 収入の部 (単位:円)				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	417,000	541,303	△ 124,303	
入 会 金 収 入	1,205,000	1,205,000	0	新入生 241 名
終 身 会 費 収 入	4,820,000	4,820,000	0	新入生 241 名
受 取 利 息 収 入	1,000	15,000	△ 14,000	
物 品 販 売 収 入	15,000	25,000	△ 10,000	
そ の 他 雑 収 入	5,000	20,000	△ 15,000	
基本財産取崩収入	1,700,000	4,000,000	△ 2,300,000	
収 入 合 計	8,163,000	10,626,303	△ 2,463,303	

II 支出の部				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
土曜講座助成支出	0	2,300,000	△ 2,300,000	自反会助成 (一財)諏訪清陵会移管
S S H 事 業 助 成 支 出	0	300,000	△ 300,000	アラスカ研修 (一財)諏訪清陵会移管
その他助成支出	870,000	1,170,000	△ 300,000	卒業生記念品代、 大会出場奨励金
(一財)諏訪清陵会寄附支出	500,000	500,000	0	財団運営費補助
定期総会費支出	350,000	350,000	0	運営費、資料印刷費、 広告代他
支部活動奨励金支出	500,000	500,000	0	(旧)支部総会祝儀他
その他事業支出	220,000	95,000	125,000	湖周マラソン、プロ ンズ像クリーニング 他
会報会計繰出金支出	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金支出	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設備更新費用
母校助成基金繰出金支出	1,500,000	1,500,000	0	諏訪清陵会寄付減額分積立
給料手当支出	600,000	480,000	120,000	事務局長業務量増大・増額
会 議 費 支 出	200,000	200,000	0	役員会 (常任幹事・ 幹事) 他
旅 費 支 出	500,000	500,000	0	会議出席旅費交通費、 その他
事 務 所 費	1,020,000	840,000	180,000	通信費、事務消耗品、 備品費、慶弔費
予 備 費	53,000	41,303	11,697	
支 出 合 計	8,163,000	10,626,303	△ 2,463,303	

平成 25 年度 名簿 特別会計決算報告 (案)

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

収入額 8,222,183 円 (繰入金 利息)
支出額 3,117,953 円
(データ変換プログラム 調査業書印刷 料金後納 等)
差引残額 5,104,230 円 (平成 26 年度へ繰越)

平成 26 年度 諏訪清陵高校同窓会 事業計画書 (案)

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

母校教育助成事業

1. クラブ活動同窓会後援会募金
 2. 清陵高校及び付属中学校設備助成
 3. 新入生・卒業生記念品贈呈
 4. 一般財団法人諏訪清陵会運営支援
役員就任、運営費寄付
 5. ブロンズ像「黎明」クリーニング 清水多嘉示 作
- 同窓会員交流事業
1. 平成 26 年度定期総会開催
 2. 「清陵同窓会報」第 40 号発行 (編集担当 81 回生)
 3. 各支部活動促進
 4. 母校創立 120 周年記念事業推進
(同窓会員名簿発刊、母校教育設備)
 5. 道志社先輩・物故会員慰霊法要

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：小坂洋造 (63 回生) 副支部長：今井文人 (52 回生) 小林悟郎 (56 回生) 今井聡子 (58 回生) 山田正幸 (59 回生) 監事：松木本興 (61 回生) 相談役：河西計介 (42 回生) 上島武 (57 回生) 顧問：吉澤啓介 (57 回生) 事務局長：花岡正 (69 回生) 神戸正幸 (66 回生) 幹事代表：小坂辰徳 (59 回生)	支部長：太田龍朗 (61 回生) 副支部長：下枝晴彦 (61 回生) 佐々木忠男 (64 回生) 幹事：浜一吉 (65 回生) 保坂秀正 (68 回生) 小口眞紀雄 (69 回生) 今井啓雄 (89 回生) 会計監査：今井安榮 (67 回生) 事務局長：小林良章 (75 回生) 事務局次長：濱隆二 (73 回生) 事務局次長：矢澤弘司 (81 回生)	支部長：藤森宏一 (63 回生) 副支部長：長田宏子 (62 回生) 金子充彦 (65 回生) 兼事務局長 平林千義 (67 回生) 監査幹事：今井恒夫 (57 回生) 監査幹事：有賀朝彦 (63 回生) 小梅健治 (84 回生) 事務局次長：小林国利 (62 回生) 林健康 (72 回生) 関屋孝行 (76 回生) 北原譲 (82 回生) 赤羽俊昭 (84 回生)	支部長：藤森弘 (60 回生) 支部幹事：山田巻義 (64 回生) 会計監事：赤羽英勝 (60 回生) 幹事：長谷川茂夫 (60 回生) 林靖 (62 回生) 加藤範久 (70 回生) 根橋義太郎 (71 回生) 川島弘 (73 回生) 寺島則子 (79 回生) 福島正寿 (80 回生) 橋本実樹 (83 回生) 中村海基 (92 回生) 古村慎二 (92 回生)	支部長：大森高人 (68 回生) 副支部長：伊藤隆一 (58 回生) 幹事長：赤羽博 (78 回生) 事務局：加藤恒男 (86 回生) 会計幹事：武居保男 (80 回生) 幹事：井上英 (85 回生)	支部長：高見澤忠明 (61 回生) 副支部長：岩本弘 (65 回生) 有賀良夫 (68 回生) 花岡佳市 (71 回生) 中村博 (72 回生) 幹事：井上英 (85 回生)
事務局連絡先	〒 562-0025 箕面市粟生外院 1-17-1-1311 花岡方 TEL&FAX：072-727-3616 E-mail：hanaoka1311@hera.eonet.ne.jp	〒 452-0946 愛知県清須市廻間 2-2-17 小林方 TEL：090-9912-3428	〒 113-0033 東京都文京区本郷 1-10-14 加奈利屋館 7 階小林公認会計士事務所 平林方 TEL&FAX：03-3812-5887	〒 390-0861 松本市蟻ヶ崎 3-7-20 藤森方 TEL&FAX：0263-32-9016 E-Mail：h131213f@coral.plala.or.jp	〒 399-0425 上伊那郡辰野町樋口 2219 赤羽方 TEL：090-2152-2892 (支部長携帯) FAX：0266-43-2822 E-mail：fiat-director@honey.ocn.ne.jp	〒 381-0043 長野市吉田 4-10-32-911 井上方 TEL&FAX：026-259-6354 E-Mail：suguru-i@shinmai.co.jp
直近の支部総会	日時：平成 25 年 3 月 2 日 (日) 場所：大阪第一ホテル 出席者：35 名 来賓：松下同窓会長、守屋教頭 〔議題〕平成 25 年度活動・決算報告 平成 26 年度活動計画・予算 〔講演〕私の万葉集 講演者：上島武氏 (57 回生) 懇親会：福引	日時：平成 25 年 2 月 9 日 (土) 場所：キャッスルプラザ (名古屋古屋市) 出席者：23 名 〔議題〕会務報告、事業計画、会計報告、予算、会費改定 〔懇親会〕会長、来賓 (松下同窓会長、佐藤校長) 挨拶、鏡割り、学生と社会人の交流会、校歌斉唱、万歳三唱	日時：平成 25 年 10 月 18 日 (金) 場所：アルカディア市ヶ谷 出席者：211 名 〔議題〕会務報告、事業計画、会計報告、予算、会費改定 〔懇親会〕会長、来賓 (松下同窓会長、佐藤校長) 挨拶、鏡割り、学生と社会人の交流会、校歌斉唱、万歳三唱	日時：平成 25 年 11 月 30 日 (土) 場所：ホテルモンターニュ松本 出席者：12 名 〔議題〕新設される中学についての説明後、このことについて話題を集中したが、今後の支部出席者を増やすように、どう対策をとるべきか等の意見が多数。	日時：平成 26 年 4 月 26 日 (土) 場所：たつのパークホテル 出席者：50 名 〔議題〕平成 25 年度事業報告・決算報告 平成 26 年度事業計画・予算案の承認 上記役員改選の提案・承認 〔講演〕「戸浪士平出宿 通過から 150 年周年にあたって」講師：有賀 寛氏 (47 回生 辰野在住) 〔懇親会〕	日時：平成 26 年 2 月 21 日 (金) 場所：ホテル国際 21 (長野市) 出席者：54 名 〔議題〕支部活動報告 議案 (提案) 支部総会開催時期変更の件 = 毎年 2 月に開催している支部総会の時期を変更する。具体的な時期については、支部役員会に一任 〔懇親会〕
前年度活動	ゴルフ部会 平成 25 年 5 月 22 日 (水) 6 名参加 平成 25 年 10 月 23 日 (水) 6 名参加 歩こう部会 平成 25 年 4 月 5 日 (金)「酒と歴史が薫る伏見を歩く」13 名参加 平成 25 年 11 月 24 日 (日)「坂本の紅葉と石積みの里坊を歩く」11 名参加 会報 第 23 号 2/12 発行 送付数 215 名 支部役員会 平成 25 年 7 月 2 日 (火) 平成 25 年 11 月 29 日 (火)	平成 25 年 6 月 18 日 支部幹事会 同窓会本部意向を踏まえ、支部総会開催時期を夏期に変更 平成 25 年 12 月 10 日 支部幹事会 参加全員獲得方法について 支部役員会 必要に応じて	東京清陵会だより 24 号の発行 ゴルフ会の開催 清陵本部同窓会、東京同窓連、南信同窓連会議・行事への参加 清陵勉強会 (隔月 偶数月) の開催 寒水会 (小石川高校同窓会との共催) への参加	役員会 4 回 役員改選検討 加島範久 幹事長辰野町長就任につき改選により赤羽博氏に。 副町長就任の武居保男会計は会計を継続。 新任 (事務局 86 回生 加藤恒夫 幹事 71 回根橋義太郎・79 回生寺島則子 92 回生の古村慎二の各氏) 総会参加者増を図る方法の検討 経費節減についての検討→総会通知 3 年間無返信者には個別通知をせず、新聞広告をもって行う。	役員会 (随時) 前年に倣って、支部活動の活動を充実させる 新しい事業の実行が可能か検討する	支部役員会で新たな支部総会開催時期を決定する
今年度の計画	ゴルフ部会 (春・秋 2 回) 歩こう部会 (春・秋 2 回) カルチャー部会 会報 年 1 回発行予定 支部役員会 必要に応じて	平成 26 年 8 月 9 日 (土) 支部総会 キャッスルプラザ	東京清陵会だより 25 号の発行 平成 26 年 10 月 17 日 (金) 17:00 ~ 支部総会・懇親会 アルカディア市ヶ谷勉強会の開催 ゴルフ会の開催 新入学生学生の歓迎会開催 東京清陵会女子会の開催	今年度も支部総会を 10、11 月に計画予定	平成 27 年 4 月 支部総会 役員会 (随時) 前年に倣って、支部活動の活動を充実させる 新しい事業の実行が可能か検討する	支部役員会で新たな支部総会開催時期を決定する

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長：荒木敬悦 (72 回生) 副支部長：藤原光郎 (75 回生) 名取重治 (72 回生) 事務局：五味昭二 (75 回生)	支部長：水野俊彦 (63 回生) 副支部長：小池邦治 (70 回生) 事務局：五味昭二 (75 回生)	支部長：金井修 (63 回生) 副支部長：北原正信 (69 回生) 事務局長：樋口尚宏 (77 回生)	支部長：後町泰昭 (68 回生) 副支部長：小松重一 (70 回生) 事務局長：藤森富雄 (68 回生) 会計：矢崎勝美 (70 回生)	支部長：小口俊吉 (66 回生) 副支部長：中村奎司 (67 回生) 大和昭雄 (68 回生) 事務局長：河西達雄 (76 回生)	支部長：花岡正好 (68 回生) 副支部長：丸山剛 (64 回生) 小口憲司 (69 回生) 竹村文男 (72 回生)
事務局連絡先	〒 391-0106 諏訪郡原村菅浦沢 10115 番地 2 藤原方 TEL：0266-79-4019 E-mail：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	〒 399-0101 諏訪郡富士見町境 2790 水野方 TEL&FAX：0266-64-2575 E-Mail：toshibohsan@po31.lcv.ne.jp	〒 391-0012 茅野市金沢 2412-1 樋口方 TEL&FAX：0266-72-8302 E-Mail：nhiguchi@po26.lcv.ne.jp	〒 392-0003 諏訪市上諏訪 9268-2 藤森方 TEL：0266-53-9833	〒 393-0061 下諏訪町御田 町 3156-1 河西方 TEL：0266-27-8455 FAX：0266-28-0637 E-Mail：mail@stepkasai.com	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内 田中輝明方 TEL：0266-23-4567 FAX：0266-24-4055 E-Mail：suumubu-2@suwashinkin.jp
直近の支部総会	日時：平成 25 年 9 月 7 日 (土) 場所：ハケ岳高原農機の本荘 出席者：17 名 〔議題〕ハケ岳美術館の見学 原支部長挨拶、会計報告 松下同窓会長挨拶 守屋教頭挨拶 林同窓会事務局長挨拶 〔懇親会〕	日時：平成 26 年 2 月 23 日 (日) 場所：大奥 出席者：26 名 小林一彦町長 (65 回生) 講演会を予定していたが、大雪 (対策) により中止。 懇親会を中心とした。	日時：平成 26 年 2 月 8 日 (土) 場所：マリオローヤル会館 出席者：50 名 〔議題〕同窓会長挨拶及び会務報告 松下会長 学校長挨拶及び近況報告 守屋教頭 〔講演〕「まちづくり」は「ひとづくり」 講演者：茅野市長 柳平千代一氏 (75 回生) 〔懇親会〕	日時：平成 25 年 11 月 15 日 (金) 場所：諏訪シティホテル成田屋 出席者：82 名 〔議題〕来賓挨拶 (松下会長、佐藤校長)、議案審議等、役員改選 〔講演〕「世界に愛される日本の食—その現状と課題—」 講演者：桃山学院大学経済学部教授 大島一二氏 (81 回生) 〔懇親会〕	日時：平成 26 年 4 月 19 日 (土) 場所：ぎん月 当地区は 4 ~ 3 月で 1 年とし、年度終了時に総会を開く。本年度は、3 月総会を校長先生の意向で 4 月に開催する。 18:00 ~ 事業報告・役員選出 〔清陵の現況〕 〔創立 120 周年記念事業〕 同窓会長・同窓会事務局局長「中・高一貫について」 講演者：清陵高校校長、中学校副校長 〔懇親会〕	日時：平成 26 年 2 月 14 日 (金) 場所：ホテル岡谷 出席者：64 名 〔議題〕支部長挨拶、来賓祝辞 (佐藤校長) 議案審議 (平成 25 年度事業報告、会計報告、役員選出) 報告事項 (当幹事 81 回生より全体総会についての内容報告及び協力依頼) 役員改選では、佐原一誠副支部長 (64 回生) が退任、丸山剛副支部長 (64 回生) が新たに選出 〔懇親会〕
前年度活動	平成 26 年 8 月 末 支部総会	平成 27 年 2 月 支部総会	平成 25 年 11 月 25 日 支部幹事会 (役員の改選及び支部総会について) 平成 26 年 1 月 17 日 支部幹事会 (役員の改選及び支部総会について) 平成 26 年 2 月 8 日 支部総会 平成 26 年 5 月 支部幹事会 あて本部総会の通知および出席取りまとめの依頼	道志社慰霊法要への参加 平成 26 年 11 月 14 日 支部総会	平成 25 年 7 月 27 日 (土) 納涼会 場所：ライフプラザマリオ 出席者：25 名 〔講演〕18:00 ~ 「若者の非行について」 講師：笠原信明氏 (69 回生) 〔懇親会〕 19:20	本総会支援の為の役員会開催 (平成 25 年 6 月 6 日) 支部役員会 平成 26 年 1 月 27 日 20 名参加
今年度の計画	平成 26 年 8 月 末 支部総会	平成 27 年 2 月 支部総会	平成 26 年 11 月 支部幹事会 (支部総会について) 平成 27 年 1 月 支部幹事会 (支部総会について) 平成 27 年 2 月 支部総会 平成 27 年 5 月 支部幹事会 あて本部総会の通知および出席取りまとめの依頼	道志社慰霊法要への参加 平成 26 年 11 月 14 日 支部総会	平成 26 年 7 月 納涼会 平成 27 年 3 月 総会	平成 26 年 6 月 本総会支援の為の役員会 平成 27 年 2 月 支部役員会 平成 27 年 2 月 支部総会

INGS SHINANO
株式会社 **イングスシナノ**
代表取締役社長 **小林 秀年 (79 回生)**
〒 393-0042
長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5 4 1 5
TEL 0266-27-8851 FAX 0266-28-0112
URL <http://www.ings-s.co.jp>

街の健康支援拠点
薬種問屋 大坂屋薬局
有限会社 大坂屋常太郎商店
無菌調剤室完備 代表取締役 **藤森和良 (91 回生)**
諏訪市清水 2-7-22 電話 0266-52-0309 (代) FAX 0266-52-0310
薬局 電話 0266-52-7756 FAX 0266-52-7869
大阪屋薬局 湯の脇 諏訪市大和 3-5-7 電話 0266-53-1440 FAX 0266-53-1422

医療法人 **絃祐会**
大滝歯科医院
理事長 **大滝祐吉 (81 回)**
歯科医師 **大滝紘史 (109 回)**

生活応援
みんなの暮らしをバックアップ!
お葬儀・仏壇・墓石・レストラン・料理・ケータリング
生活雑貨・ギフト・ご婚礼・りんごの会
代表取締役社長 **太田 博久 (86 回生)**
生活応援企業 **太田屋**
松本・岡谷・諏訪・長野・上田・佐久・伊那
本社/諏訪市中洲 523-3 (諏訪ふれあい広場)
Tel: 0266-54-3555 Fax: 0266-54-3553
【本館】<http://www.ohdaya.co.jp/>

学年会短信

■ 40 回生

昭和 9 年入学の 40 回生は、200 人余りでした。木造校舎でそれぞれ特徴のある先生方からご指導を受けました。7 月に室戸台風に襲われ、校門近くの大きなボプラが私ども 1 年生の校舎に倒れて記念館で授業を受けました。日中戦争が激しくなり、卒業を待たずに海兵・陸士・予科練の兵役に進む同級生が大勢いました。太平洋戦争になり大勢の同級生が戦死されました。2 年前に卒寿を迎えた今、諏訪、上伊那地方で同級生は何人いるだろうかと思ひ浮かべてみると、10 名ほどになりました。新聞紙上で毎年 1 人 2 人の同級生の訃報が伝えられます。東京方面の訃報も伝えられます。それでも新聞紙上などで、同級生の現役に近い仕事をされている活躍を拝見します。健康増進に努めているとの便りも頂きます。好きな趣味を楽しんだり、少しでも世の中に役立つように努めたいと思います。

■ 45 回生

昨年と同窓会定期総会（6 月 29 日ホテル紅や）には、45 回生として増沢三平君と小松一弘が出席。懇親会の最後の万歳を二人でやった。今年に入って 1 月 11 日と 16 日に今季最低となる氷点下 10 度を記録し 16 日には諏訪湖は、ほぼ全面結氷した。その後も解氷・結氷を繰り返したが御神渡りの出現はなかった。2 月に入ってから諏訪地方も記録的な豪雪に見舞われ交通網や産業・生活に支障が続いた。昨年の秋の高島公園での諏訪市菊花展に行った。諏訪市長賞の「富士の輝き」という花の小菅重男兄の見事な作品があった。作品をカメラで撮り元気な兄に届けた。新年の長野日報ふるさとの賀状（1 月 4 日）の中に今年も東京からの岩波一寛君の「ふるさとを思うたより」があった。清水ヶ丘の学園生活の思い出は尽きないが、亡き師や友の冥福を祈ると共に 45 回生諸兄の健勝を諏訪の地より祈っている。（学年幹事 小松一弘）

■ 48 回生「清陵白樺会」

諏中 48 回生は、同期会を「清陵白樺会」と称して毎年東京で続けて来ました。今年も 3 月 28 日に開催し 21 年を経過しました。これだけ続けられたのは、東京近在の献身的な幹事の皆さんと、これに応える会員の熱意があつてのことだと思います。しかし、近年参加者は 20 人前後で、体調の事、家族介護のことなどで漸減しています。東大の教授で南極観測隊長も務めた小口高君も一昨年亡くなりました。48 回生は太平洋戦争の始まった翌年の入学であり、中学生生活の殆どは厳しい戦時下の元にありました。入学早々から農家への勤務奉仕、防空訓練などがあり、3 学年の夏からは伊那飛行場のトロッコ作業、白樺湖の堤防作り、諏訪鉄山の鉄道敷設作業、続いて軍需工場への労働動員などで 4 学年の終戦時まで学校での授業はありませんでした。厳しい環境の中で共に苦勞したことの意識が、同期会継続のきずなになっているのかも知れません。

同期会としては「学窓」と銘打って随想、旅行記、詩歌などを募って 8 号まで発行もしました。そろそろ打上げてはなどの話題も出ま

したが、意気軒昂続行しようとの結論です。

■ 50 回生「互励会」

平成 25 年 8 月 17 日、互励会諏訪は諏訪市仙岳にて開催。中村平治君、バングラデシュの話。彼の活躍した舞台の一部を知る。萩原儀久君の小口太郎と琵琶湖周航の歌の解説に、先輩の時代に思いを馳せさせてもらった。寺島敏郎君、これからの時代への先を憂いての意見を述べ、参加者に感銘を与えた。唐沢重雄君、伊那市から参加、旧制中学時代の思い出に浸って満足していた。同年 10 月 9 日、互励会東京は神田如水会館で行われた。有賀英夫君にいつもお世話になる。竹村一司君、数学の大御所だが、話は更に進んで徒然草に及ぶ。持明院統にも大覚寺統にもつながりのあった兼好法師は、又両統のいずれでもない立場で後世の為に書き残してくれたという話に思われた。法師は「死は前よりきたらず、かねて後よりせまれりと」竹村君の言うには「ケンコウのうちにゴホウシを」という。

当日武井秀夫君、自らの著書を諸友へ解説。武井君はその場の雰囲気、諸友からも活力を得たか、今年は「黒部の夜話」という本を発行予定とか。建設工事中の黒部ダムでの医師生活について面白い話が出てくると思う。今年は武井君が落葉の紙価を高めると確信。

■ 52 回・55 回「双樹会」

昨年は、われわれ双樹会の仲間が全員傘寿を迎えた年でありました。同時に、80 年の年輪の重さを感じようになった年でもあります。双樹会の名のもとに実施してきた諸行事も続けることが重くなっていき、終息することにしました。それは諏訪での双樹会総会、東京双樹会の納涼会、双樹会哀悼基金、双樹会美術展などです。総会、納涼会は毎年 50 名近い参加者で盛会でした。昨年の第 6 回傘寿記念展を最終とした美術展は都度工夫が凝らされていて見ごたえがありました。絵画・書・彫刻・写真・篆刻・工芸・デッサン・拓本など出展は多彩で、延出展者数 126 名（内恩師 30 名）、出品点数 325 点（内恩師 63 点）、会場への来場者数は延約 1800 名（一日平均 50 名）、そして都度発刊された作品集は 670 部に及び、確かな手ごたえと成果のあった美術展でした。

双樹会哀悼基金は、会員から拠出してもらった基金をもとに約 20 年にわたって物故会員に弔意を届けてまいりました。しかし、近年会員の動向把握が困難になるなど、基金の維持管理が容易でなくなったため、従来の基金運用を終息しました。そして今後は毎年地藏寺で物故者の慰霊法要を行うことにしました。昨年は、その初回で総会当日に物故者 112 名の慰霊法要を盛大に行いました。今後、平成 30 年までは毎年 10 月 7 日を定例日と定め、世話役に申し込みの上参加してもらうことにしました。基金の残金は今後の慰霊法要の経費に充当し、一部を同窓会に寄付することにしました。

■ 60 回生「睦和会」

毎年この原稿依頼が来るが、毎年その間隔が近く感じる様な気がします。今回我々が地元と東京睦和会で毎年交互に総会を開催して

既に 12 年余りになる。その実績を幹事長に整理してもらった。圧巻は当番学年総会で宇宙飛行士毛利さんと呼んで文化センターで 1,000 余名の市民を巻き込んでのイベントをしたことだろうか（今は紅やが定番だが…）。平成 25 年度は、11 月に特別懇心会（34 人出席）、12 月に 259 回例会（19 人出席）を開く。

■ 61 回生 恒例行事

6 月下旬 ゴルフコンペ 富士見高原ゴルフコース 出席者数 25 名
7 月下旬 納涼会 会場諏訪市内料理屋等 出席者数約 35 名

■ 63 回生「六三会」

今年の諏訪は 2 月 14 日から 15 日にかけての大雪（平坦部で 50cm、山麓部では 100cm 以上）のため、JR、国道 20 号線、中央自動車道の全てが数日間不通となり首都圏との交通網が断絶しました。また諏訪湖では御神渡りは出来ず明けの海でした。

さて、今年の六三会は去る 3 月 6 日に諏訪のクラス幹事会を開き、東京の代表幹事にも了解をとり 7 月 26 日（土）諏訪で開催することになりました。（7 月 27 日は希望者でゴルフ大会とボート乗艇も予定）場所等詳細は 5 月に諏訪のクラス幹事会に諮り、決定しだい各クラス幹事からご案内しますので日程の調整をしていただき、大勢の皆様（特に諏訪地方在住の方々）のご出席をお願い致します。

■ 64 回生「ザザムシ会」

我々の同期会は昭和 33 年入学 64 回生なので呼称「ザザムシ会」と呼んでいます。一昨年 2012 年 6 月 29 日諏訪の紅やで古稀の集りを実施しました。殆どが皆さん勤めを既に引退、また古稀を期に引退を決めた人達でした。北は北海道から南は遠くオーストラリアからこの日の為に駆けつけてくれました。気持ちに余裕が出来たのか昔懐かしい思い出に、その後の自分の歩んだ道に話が弾みました。二次会は其々のクラスごとで実施。

同期会は各支部がまた有り、其々活発に活動しています。特に東京ザザムシ会は対象人数も多く毎月第三水曜日に行っています。順繰りに講師を決め、自分の歩んだ専門等を中心に 1 時間位セミナーを開きその後呑みながら懇談を続けています。また春と秋にゴルフ会、定期的な山歩きが有ります。更に毎年 10 月には文化祭と称して趣味の写真、絵画、造形、ギター演奏等発表しています。また旅行も毎年海外、国内と実施しており今年は台湾と聞いています。またザザムシ女子会も活発で昨年は京都旅行と風の便りで聞きました。従って諏訪に居る私は出張の折り東京ザザムシ会に時々参加して旧交を深めています。（学年幹事 山崎 晃）

■ 65 回生

1. 同年会について

例年どおり秋に開催する予定で、当番クラスの 1 部が検討中です。開催日程と場所等が決まり次第連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2. 「八日会」について

諏訪地域在住の 65 回生有志が集まっての飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月 8 日の午後 6 時 30 分から上諏

訪駅前「いずみ屋」で開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。 （学年幹事 青木成雄 0266-53-0072）

■ 66 回生「碌々会」

碌々会東京の皆さんの御努力により、古希記念誌の発刊も無事に終え、この会報が届くころには記念誌も皆さんのもとに届いているでしょう。60 名以上の方から御投稿頂き、バラエティに富んだ素晴らしい出来となっています。まだ未注文の方はお早めに藤森元規さんまで御連絡下さい。また、古希記念懇親会も企画しております。盛大に開催できるよう、間際の連絡でも参加可能となるよう柔軟に対応しますので、クラス幹事の方又は蒲地（090-1555-1684）まで。

■ 68 回生

68 回生諸君！ 集いて大いに語ろう！ 同窓会総会懇親会終了後、68 回生の第 14 回学年会を開催します。皆様には連絡できる学友と誘い合って、是非学年会にご出席ください。欠席される方で近況等連絡事項のある時は FAX 下さい。皆に伝えます。

1. 日時 6 月 28 日（土）18 時 30 分から
 2. 会場 紅蘭（諏訪市湖岸通り 5-17-7 TEL：0266-58-1443）
 3. 会費 3,000 円（当日会場で徴収）
 4. 出席・欠席の連絡不要
- ☆問合せ先：学年幹事 矢沢昭三
TEL：0266-58-1443 FAX：0266-52-5177

■ 69 回生「無垢の会」

今年度の会合とゴルフを以下のように計画致しましたので、大勢の参加をお願いします。参加希望者は、各担当者へ申込み下さい。

- ①諏訪での同年会日時：6 月 28 日（土）午後 6 時 30 分～
場所：串焼一丁目（諏訪市大手 1 丁目）
担当：矢澤博（090-3312-1469） hiro.yaza.8974@gmail.com
- ②東京での同年会日時：6 月 14 日（土）午後 5 時 30 分～
場所：東海大学校友会館（霞が関ビル 35F）
担当：比田井昌英（090-2545-7038） masahide.takadahidai@gmail.com
- ③ゴルフコンペ
85 歳まで、120 回開催に向けて、皆でがんばってます。
●会場：フォレストカントリークラブ三井の森
第 54 回：4 月 13 日（日）／第 55 回：6 月 25 日（水）／第 56 回：9 月 10 日（水）／第 57 回：11 月 9 日（日）
担当：小口憲司（090-3063-5871） okenji1107@softbank.ne.jp

■ 71 回生

「平成 16 年度同窓会総会の当番幹事を務めた我が 71 回生は、当日全国から総勢 90 名の同志が紅やへ集結し、大いに結束を高めた。あれから 10 年…」以来、毎年諏訪と東京で学年会を開催し、近年は年 2 回の親睦ゴルフ大会も行なっています。今年も 6 月 28 日の総会に合わせて昼はゴルフ、夜は恒例の「割烹仙岳」で学年懇親会を開催します。10 年目の節目を迎える今年は、例年に増して大いに盛り上がりたいと思います。詳細は 71 回生メーリングリストに

2013 年 3 月オープン
箱根湯本の日帰り温泉

箱根温泉

神奈川県足柄下郡箱根町塔之澤 4
《箱根湯本駅より無料送迎バス約 3 分》
TEL.0460-85-8411
平 日：10 時～21 時（最終入場は 20 時）
土休日：10 時～22 時（最終入場は 21 時）

株式会社 小田急リゾート 取締役 原 眞示（81 回生）

耳鼻咽喉科小口医院

医師 小口多聞（40 回生）
医師 小口直彦（76 回生）

〒394-0022 岡谷市銀座 2-2-24
TEL 0266-22-3068

あなたの街の郵便局

日本郵便株式会社
岡谷東銀座郵便局

局長 宮坂 敦尚（81 回生）

〒394-0023
長野県岡谷市東銀座一丁目 12 番 25 号
Tel：0266-23-4281
Fax：0266-23-9433

整形外科・リウマチ科

おわ
医療法人 **大和整形外科医院**

大和 俊彦（82 回）

〒392-0022 諏訪市高島 1-14-1
TEL 0266-52-3098 FAX 0266-58-9507

て通知しますが、この短信をご覧の同士諸君は幹事まで直接申し込みも可能です。(学年幹事 浜江利明)

ゴルフ部会幹事：小池孝博 (0266-73-5892)

71 回生学年幹事：浜江利明

住所 (自宅)：〒 392-0017 諏訪市城南 1-2644-3

電話 (自宅)：0266-58-5470 携帯：090-4751-9642

E メール：shibue@shibue-seimitsu.co.jp

■ 72 回生「篝火 (かがりび) の会」

「Google」で「篝火の会」を検索し、「72 回生のホームページ」の「清陵のお庭」に入っていたと、毎日の諏訪の天気や学年メンバーの随筆 (雑談) 集に出会えます。72 回生に限らず皆さんの自由な投稿をお待ちいたします。



東京地区の活動は北沢章司氏 (5 部 /TEL: 042-373-0654) を幹事として納涼会や忘年会などを開催。諏訪地区では、月例会 (第 4 土曜日) 及び 12 月 29 日頃の忘年会を 19:00 より「レストランくみ」(茅野市 4 部小池義一氏経営 /TEL:0266-72-5640) で開催。語り合います。

毎年総会后 19:00 頃から学年総会開催。場所はいつもの「伊呂波 (諏訪市大手町 TEL: 0266-58-0365)」。会費 3,000 円位。参加希望者は 6 月 25 日までに幹事：新井 (090-7008-4743) へ。

■ 75 回生

平成 25 年 8 月 17 日、ラコ華乃井にて「還暦会」を開催しました。参加者は予想を上回る 46 名で盛況でした。翌日は、二日酔いといえども有志だけでゴルフコンペをしました。また、75 回生のホームページのアドレスが変更になりましたのでお知らせします。

<http://s75fuji.web.fc2.com/>

■ 76 回生

還暦を迎える学年となりました。元気にもう一度『幻の修学旅行』

を実施しようということで、まだ来年のことですが、幹事会にて日程と行き先は決定させていただきました。76 回生のみなさん、今から予定をお願いします。

日程：2015 年 5 月 16 日、17 日 (土、日) 行き先：金沢方面 (北陸新幹線も開通します)

また今年もお盆には、恒例のゴルフとクラスを超えた同級会を予定しています。お盆に諏訪で会いましょう！詳しくは、HP をご覧ください。(学年幹事 朝倉義信)

<http://www2.plala.or.jp/yellowcard/index.html>

■ 77 回生

あと 1 年ほどでいよいよ還暦。同期生諸兄姉とともに楽しく和やかな集まりを実施したいと思案していますのでよろしくお願い致します。何か希望などがあればクラス幹事に連絡をとって下さい。

■ 80 回生

今年度より学年幹事をさせていただくことになりました大久保です。よろしくお願いします。昨年の総会準備・運営スタッフ約 40 名はメーリングリストがあり連絡できますが、それ以外の 80 回生の方、私までメールをいただけたら今後同級会の情報などお知らせできると思います。最近の活動ですが、チロルの高橋幹彦君が声をかけてくれ、元旦に茅野駅前の「福福屋」に 15 名ほど集まりました。また、上諏訪でも毎年 1 月 2 日に「雫石」で飲むグループがあります。こちらは諏訪市役所の松崎寛君が幹事です。6 月の総会後の懇親会では 80 回生のテーブルをぜひ作りたいと思っていますので出席できる方は連絡をお願いします。これからもますます親睦を深めていきましょう。(学年幹事 大久保純男) sokubo@po22.lcv.ne.jp

■ 81 回生

私たち 81 回生は、同窓会総会および会報幹事として昨年末より活動を始めました。目的は総会の成功と会報の適切・適時な送付です。活動する中で、幹事学年は総会の赤字補てんのカンパはしない、総会会費は 5,000 円を維持する、など、私たちのスタンスを固めました。分科会中心に、楽しみながら準備しています。総会当日まであと 1 ヶ月。まだやることは沢山あります。81 回生の HP (<http://>

この街と生きていく。

諏訪地域に本店のある地元の金融機関として、地域との共存共栄をめざす諏訪信金の決意です。



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

花岡 恒好 (68)・藤森 富夫 (74)・山崎 文男 (76)・宮坂 春夫 (76)・原 幸弘 (77)・井上 誠 (78)・武居 秀実 (80)・田中 輝明 (81)
宮坂 俊郎 (84)・宮坂 明宏 (84)・岡本 賢吾 (85)・藤森 正樹 (86)・桑沢 喜仁 (86)・矢崎 崇廣 (90)・牛越 智彦 (91)・濱 宏臣 (91)
林 直樹 (92)・中村 進 (92)・西堀 博親 (92)・五味 孝洋 (93)・伊藤 晃彦 (93)・宮阪 清文 (95)・矢澤 吉行 (95)・樋口 廣一 (95)
澤井 靖忠 (96)・鈴木 真介 (96)・宮澤 正 (98)・竹内 一記 (99)・小松 房隆 (99)・渡辺 芳枝 (99)・小口 和恵 (99)・五味 静絵 (100)
小口 泰平 (101)・山田 智史 (103)・矢島 亮 (103)・雨宮 直之 (103)・折井 友彦 (103)・大藏 隆道 (104)・御子 紫香奈 (104)
宮澤 紀宏 (105)・浦野 順平 (105)・藤堂 紗代 (105)・日達 優子 (107)・関 優介 (108)・森山 広基 (108)・征矢 寿子 (108)
小口 駿人 (109)・竹村 一也 (109)・河西 瞳美 (109)・小林 奈津子 (109)・宮坂 星美 (109)・宮坂 駿一 (110)・久保 田彩香 (110)
増澤 優衣 (111)・中田 沙希 (111)・岡村 沙緒理 (111)・根橋 洋孝 (112)・宮阪 奈津岐 (114)

<〒394-8611 岡谷市郷田 2 丁目 1 番 8 号 TEL0266-23-4567 <http://www.suwashinkin.co.jp>>

kawamotoya.net/s81/) を覗いてください。気になったら、是非、連絡下さい。総会を、一緒に盛り上げていきましょう。

(学年幹事 山村宜男)

■ 92 回生「九二会」

H25 7/19 品川にて男女 15 名、東京清陵九二会の納涼会。

H25 12/18 品川にて、同忘年会。

H27 6 月末の土曜日 清陵同窓会定期総会サブ幹事です。総会・懇親会終了後は、九二会の 2 次会ができるといいですね。来年の学年会短信で、詳細通知できるかもしれません。

■ 93 回生「久燦会」

93 回生の柳澤寿男氏指揮による 2013 年 7 月のコンサートについて、同期の皆さんや先輩、後輩方にご協力いただきました。ここで紙面をお借りして御礼申し上げます。氏は現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督ならびにコンボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者として、紛争の傷跡が残るコソボと日本を行き来しながら、平和を願って音楽活動を続けています。今年度は、氏の生まれ育った下諏訪の地にバルカン室内管弦楽団が来て、公演を行います。2014 年 5 月 31 日 (土) 19:00 ~ は、第九交響曲を地元の合唱団と共に演奏します。翌 6 月 1 日 (日) 13:00 ~ は、20 人ほどのオーケストラの演奏をします。会場は、両日とも下諏訪町総合文化センターです。

2014 年 6 月は、第一次世界大戦のきっかけとなったサラエボ事件から 100 年の節目を迎えます。2013 年 8 月 11 日、新宿駅東口で野外第九パフォーマンス (フラッシュモブ) を皮切りに、日本で数々の平和祈念コンサートを行ってきました。2014 年 6 月には、旧ユーゴスラヴィアの民族共栄オーケストラ『バルカン室内管弦楽団日本公演』、そして、同 6 月下旬には、同オーケストラによるサラエボでの第九平和祈念コンサートを行います。「世界平和コンサートへの道」と題し、戦後交流のなくなった旧ユーゴの文化交流と隣人との共存共栄・平和を願ったコンサートです。

このような氏の活躍を応援しようと『指揮者柳澤寿男諏訪後援会』が発足しました。同窓会の先輩方も大勢関わってくださっています。同期生の皆さん、我々もぜひ応援していきましょう。また、同窓会

報をご覧になり、興味をお持ちになった方も共に応援をお願いいたします。個人として後援会の会員になってくださる方は一口 3,000 円になります。ちなみに、担任だった須藤先生をはじめ、恩師の先生方も会員になってくださっています。詳しくは、以下へメールでお尋ねください。

私は、学年幹事として、氏の応援団長を続けてまいります。これから先も、諏訪の平をはじめ、日本各地でもコンサートで指揮をする機会があると思いますので、同期の皆さん、ぜひ一緒に応援してまいりましょう。また、同窓生の皆様にも応援の輪を広げていきたいと思っています。会報が発行されてすぐの公演ですので、お早めにチケットをお求めください。完売になっているかもしれませんが…。ほかに活躍している同期生がいれば、ぜひ応援をしていきたいと思いますので、ご連絡ください。(学年幹事 吉川豪)

yskwgo@yahoo.co.jp

■ 104 回生

昨年 12 月 29 日に浜の湯にて 104 回生同級会を開催しました。全国各地から、また遠く海外からもお集まりいただき、80 名余りで盛大に開催することができました。当日は幹事が清陵高校の今の様子を紹介したり、ゲームを行ったりとあっという間の 2 時間半でした。最後には記念撮影を行い、記念品として 104 回生手ぬぐいタオルを持ち帰ってもらいました。皆 30 歳を過ぎ、それぞれが異なる環境で仕事に家庭に忙しい日々を送っているわけですが、懐かしい仲間たちと顔を合わせ思い出話に花を咲かせたり、近況を報告しあうことで、束の間ではありましたが高校時代に戻ったような楽しいひとときを過ごすことができました。今後も幹事の気が向いたら開催したいと思っています。また皆様にお会いできることを楽しみにしております。(学年幹事 宮崎希)



すwashんのネットワークでリースのご提供を

諏訪信用金庫グループ

諏訪しんきんリース(株)

お近くの営業部店までお気軽に
ご相談ください。

〒394-8611 岡谷市郷田二丁目1番6号
TEL0266-23-1793 FAX0266-23-8062
<http://www.suwashinkin.co.jp/>

電気設備・情報通信・消防設備・設計施工



平澤電気工事株式会社

本 社／長野県岡谷市幸町 6 番 13 号
TEL0266(23)2530 FAX0266(23)8015
営業所／茅野市・飯田市



総合建設業

株式会社 岡 谷 組

代表取締役 野 口 行 敏

本 社：岡谷市幸町 6 番 6 号
T E L (0266) 23-5671 (代) F A X (0266) 23-5657
URL <http://www.okayagumi.co.jp>
E-mail office@okayagumi.co.jp
支 店：中信／長野／南諏／伊那



・設計・施工・
・空調衛生設備工事
・クリーンルーム工事
・スプリンクラー工事

杉村設備株式会社

代表取締役 杉 村 彰 則

本 社／岡谷市長地柴宮 3-8-4 ☎0266(27)8632 (代) FAX0266(28)8759
諏訪営業所／諏訪市湖南 3973-1 ☎0266(52)4066 FAX0266(53)8413
下諏訪営業所／下諏訪町塚田町 3147 ☎0266(27)0575

追悼 窪田孝美先生

昭和 52 年から 60 年まで数学教諭として、また平成 10 年から 15 年まで学校長として、諏訪清陵高校に勤務された窪田孝美先生が、平成 25 年 7 月 22 日に永眠されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「俺だけどな」

窪田先生は、授業の合間によくパイプをくゆらせ、パニラの甘い香りがしたのを覚えています。タバコの葉を詰めてパイプを銜えている先生は本当に幸せそうでした。

先生の印象をひと言でいうならば、「先生＝俺だ！」です。ここ数年の清陵の数学職員室で「窪じい」と同じ空間にいた清陵 OB は年齢順に、濱 恒弘、濱 勝彦、それに私・今井 隆の 3 名でした。

最近の先生の渾名は「窪じい」ですが、その前は「わるくばいいくば」の「わる窪」の方がピンとくる人が多いかもしれません。外線電話があると、そういえば窪じいはいつも「俺だ」しか言わなかったよな、と話が続きます。数学職員室は 2 部屋あるのですが、2 室をつなぐドアは開けっ放しで実質は 1 つの職員室です。窪田先生は恐れ多いので我々 3 名は窪じいと別の部屋に居ましたが、どちらの部屋で話していてももちろん声は聞こえます。窪じいが我々 3 人に話すときは「おめえら」です。例えば窪田先生がご都合で休むとき、「明日の俺の時間、おめえ空いているから代わりにやっつけ。」といった感じです。付け加えると、「こいつとこいつに当ててみろ、云々なるぞ。」と指名する生徒まで指示されるので、当然その通りに授業を進めます。

数学科の飲み会では窪じいは必ず一番に来て待っています。窪じいの飲むものは決まっていて、焼酎のお湯割りです。作るのは濱かつの役割、濱つねは話の相手、今井は作るタイミングの指示です。別にやらされているわけではなく、それが自然な形でした。

職員全体の歓迎会や送別会がホテルなどで行われるとき、先生は早くにやって来て風呂に入ります。先生を知っている清陵 OB なら、窪田先生と「風呂」で繋がるものがあるはずですが、当時は学校に風呂があって、先生はよく昼間から風呂に入っていました。このように、窪じいの思い出は断片的にいくらか出てきて尽きません。

昨年、清陵祭の期間中に日赤にお見舞いに伺ったとき、「ちょっと話すか」といって、先生はご自身のご病気の様子を細かく話されました。それから、生徒の話、清陵の話、昔の話、教

員の話、我々 83 回生の話などされました。

お別れするとき、エレベーターのところまでいらっしゃり、「ありがとな」といって左手を少し上げましたが、それが私にとって先生の最後の姿、最後の言葉になってしまいました。

一昨年は私の担当する卒業学年の授業をお願いしましたが、「石城、三澤、二村はいいぞ！」というように生徒達をとて褒めてくださりました。卒業式後のある日の昼に、先生から電話があり「俺だけどな、どうだった。」といつものように、先生が聞くことにひとつひとつ応えていくと、「よくやった」と、ひと言だけ褒めていただきました。窪田先生に鍛えられ、またすばらしい清陵生が大勢巣立っていく瞬間でした。今でも職員室にいと「おい、これやっつけ」と窪田先生の声が聞こえてくるようです。

病院の休憩室の窓から窪田先生と眺めた諏訪湖の風景は先生の優しい顔とともに本当にきれいでした。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今井 隆 (83 回生・現諏訪清陵高校 数学科教諭)

＜窪田孝美 先生 略歴＞

昭和 17 年 4 月 2 日 長野県上田市生まれ
昭和 41 年 東京大学理学部数学科卒業
昭和 52 年 諏訪清陵高校教諭
昭和 60 年 長野県教育委員会数学科指導課指導主事
平成 8 年 長野県教育委員会高校教育課管理係長
平成 10 年 諏訪清陵高校校長
平成 15 年 3 月 定年退職
平成 14 年 文部科学大臣教育者表彰
平成 15 年 長野県永年勤続教職員表彰
平成 25 年 瑞宝小綬章受章
平成 25 年 7 月 22 日 逝去
平成 25 年 7 月 23 日 叙位 (従五位)

※後日、奥様より遺志金 10 万円を頂戴致しました。



平成 25 年 10 月 8 日、清陵会館にて、故今井重雄氏遺志金 受領式が執り行われた。

記

1. 遺志金 1,000,000 円
2. 受領式出席者
故今井重雄氏ご母堂様 伊藤実氏 佐藤学校長
松下会長 今井副会長 平島佐一先生 林事務局長
以上 7 名

清陵高校クラブ後援会 (3 者) 会計報告 (PTA・同窓会・校友会)

平成 25 年度クラブ活動後援会 3 者会計決算

収入総額 10,933,442 円
支出総額 10,893,750 円
差引残高 39,692 円

収入の部 (単位: 円)				支出の部 (単位: 円)			
科 目	予算額	収入済額	差引増減	科 目	予算額	支出済額	差引増減
繰 入 金	9,180,000	9,180,000	0	生徒遠征費	6,750,000	7,650,460	-900,460
同窓会	2,980,000	2,980,000	0	大会参加費	1,500,000	1,830,380	-330,380
P T A	4,910,000	4,910,000	0	登 録 料	900,000	609,850	290,150
校友会	1,290,000	1,290,000		施設使用料	800,000	794,740	5,260
県費等補助金	300,000	1,236,078	936,078	事 務 費	20,000	8,320	11,680
雑 収 入	2,932	296	-2,636	予 備 費	30,000	0	30,000
繰 越 金	517,068	517,068	0	積 立 金	0	0	0
合 計	10,000,000	10,933,442	933,442	合 計	10,000,000	10,893,750	-893,750

「清陵高校クラブ活動同窓会後援会」ご協力をお願い

平成 9 年度の定期総会において「母校のすべてのクラブ・同好会に關して、母校を代表して各種大会等へ出場する場合の生徒遠征費等を支援すること」を目的に標記の後援会が発足致しました (詳細は平成 9 年発行の「会報第 23 号」参照)。

平成 9 年度からの 5 年間 (第 1 次) に 1,730 名からご協力 (入会) を頂き、平成 14 年度からの 5 年間 (第 2 次) は 1,701 名、平成 19 年度からの 5 年間 (第 3 次) では 1,239 名、更に第 4 次の平成 24 ～ 25 年度は 2 年間で 1,000 名を超える多くの方々のご協力 (下記一覧表) を頂きました。その結果、昨年度まで合計 4,582 万円を母校に贈ってきています。

最近 7 年間の実績 (4 月 21 日現在)

	平成年度	協力金額 (円)	協力者数 (人)
第 3 次	19	3,526,260	356
	20	2,483,920	252
	21	2,491,963	246
	22	1,958,280	198
	23	1,841,480	187
第 4 次	24	5,270,660	535
	25	5,105,670	522

平成 25 年度 諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会 会計決算報告 (案) (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

収入の部		
費 目	収入額	備 考
繰 越 金	9,928,793	前年度より
会 費	✓ 5,194,685	522 名
雑 収 入	741	普通口座
合 計	15,124,219	

支出の部		
費 目	支出額	備 考
拠 出 金	2,980,000	学校後援会へ
合 計	2,980,000	
差引残高	12,144,219 円	(平成 26 年度へ繰越)

平成 25 年度 諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会基金 (案) (平成 26 年 3 月 31 日)

種類	預入先	金額 (円)	利率 (%)	期間 (年)	満期日
定期預金 (元利金継続)	諏訪信用金庫	1,400,356	0.025	1 年	平成 26.8.5

笠 原 薬 局

長野県茅野市本町西 21-4
TEL 0266-72-2028 FAX 0266-72-9893

笠 原 清 心 堂

長野県茅野市ちの横内 2622-1 西友横内店内
TEL・FAX 0266-72-7450

薬剤師 笠原直子 (81 回生)

釜 口 医 院

院長 笠原 忠 夫 (58 回生)

〒394-0035 岡谷市天竜町 3-12-22

TEL 0266-22-2089

クラブ後援会会員芳名 (敬称略)

以下の名簿は、第 4 期 (平成 24 年～ 28 年) クラブ後援会会費をお振り込み下さっている方々です。

25 回生 吉江 住次 中村 清寿 土橋 平治	43 回生 今井五十二 小泉 末也 今井 照隆 北澤 謙吾 小泉 末也 今井五十二 北原 善次	46 回生 増沢喜美夫 齋木 堯 河西 利男 小平 久平 帯川 藤夫 宮沢 信雄 小口 久市 小松 健彦 千野 貞夫 武井 厚隆 今野 廣久 細川 昭	48 回生 小口 登 川窪 純光 鳥羽 良也 永由 利弘 西澤 寛 伊藤 順一 川北 利雄 山田 正邦 矢嶋 国夫 小林澄三郎 山村 泰彦 小池 賢 木下 芳英 酒井 雅義 溝口 章夫 北原 治房 川窪 純光	50 回生 岩田 昌久 小池志保子 天野 力夫 宮坂 弘三 菊地 金光 今井 溜	52 回生 茅野みのる 友野 弘 牛山 房弘 藤原 健市 米澤 時雄 関 裕安 今井 信也 金子 三朗 藤森 昭 河西 孝雄	55 回生 小平 功 鋤柄 重雄 五味 省七	56 回生 小松 茂 下平 勝幸 花岡 宏 堀川 尚武 濱 和彦 牛山 昭重 市川 一雄 酒井 利男 渡部 清 小泉 幸雄 萩原 能男 林 正高 北原 良郷	58 回生 永田 賢行 伊藤 彰彦	59 回生 矢崎 豊国 小松 守 白倉 徹哉 加賀美久高 清水 真幸 田中 虔一 進藤 健司 中山 篤 赤羽 義章 朝倉 周一 小澤 廣利 巖 巖 上原 寿雄 雄二 祐 伯満 伯行 繁宮 聰 矢嶋 忠夫 笠原 長城 今井 正喜 藤森 照尚 小林二二	60 回生 小平 徳次 小林 智昭 吉山 善博 一ノ瀬五十志 河西 敏勝 笠原 三蔵 久保田一夫 加室 昂 今井 将隆 給田 英哉 笹岡 拓雄 二木 隆 藤森 和弘 池場 康友 笠原文武 原 敏人 石川 勝 堀 晃 野竹 虎夫 宮坂 博巳 田中 拓一	61 回生 守屋誠太郎 寺島 健司 植栗 良彦	62 回生 小口 下枝 小林 真道 太田 龍朗 平野 国政 横川 紀夫 幸 京碩 折井 和行 宮坂純一郎 小澤 興 桜井 真作 中村 隆一 川村 昌平 北原 隆 柳沢 省一 降旗 清文 知明 明彦 矢嶋 穆 原 一平 小口 晃 小河源章博 柳平 啓明 高見澤忠明 横山賢太郎 堀川喜太郎 宮坂 真也 小林 光男 川村 昌平 平野 国政 小林 信一 小澤 興 河西 康次	63 回生 亘理美代子 小坂 祥造 遠藤 博万 荒木 信行 宮坂 尚利	64 回生 河野 靖好 古村 民司 藤森 郁男 丸山 伸一 藤森 汎 博通 和親 増澤 廣志 両角 晃一 大西 高司 中村 傲明 長田 宏子 水野 至 中島 澄雄 滝沢 盛夫 石城 祐吉 金子 浩之 田中万亀男 浜 武秀 北澤 夏司 濱 弘章 中村 重紀 九津見生哲 細川 宣臣
----------------------------------	--	---	---	--	--	---------------------------------	---	-------------------------	---	--	----------------------------------	---	--	--

白川 太一 矢崎 芳直 今井 文人 河西 節郎 千野宗之進 金子 信也 浦野 実 宮坂 貞 降旗 泰夫 米澤 時雄 白川 太一 林 尚孝 小島 保 浜 一栄	55 回生 小平 功 鋤柄 重雄 五味 省七	56 回生 小松 茂 下平 勝幸 花岡 宏 堀川 尚武 濱 和彦 牛山 昭重 市川 一雄 酒井 利男 渡部 清 小泉 幸雄 萩原 能男 林 正高 北原 良郷	58 回生 永田 賢行 伊藤 彰彦	59 回生 矢崎 豊国 小松 守 白倉 徹哉 加賀美久高 清水 真幸 田中 虔一 進藤 健司 中山 篤 赤羽 義章 朝倉 周一 小澤 廣利 巖 巖 上原 寿雄 雄二 祐 伯満 伯行 繁宮 聰 矢嶋 忠夫 笠原 長城 今井 正喜 藤森 照尚 小林二二	60 回生 小平 徳次 小林 智昭 吉山 善博 一ノ瀬五十志 河西 敏勝 笠原 三蔵 久保田一夫 加室 昂 今井 将隆 給田 英哉 笹岡 拓雄 二木 隆 藤森 和弘 池場 康友 笠原文武 原 敏人 石川 勝 堀 晃 野竹 虎夫 宮坂 博巳 田中 拓一	61 回生 守屋誠太郎 寺島 健司 植栗 良彦	62 回生 小口 下枝 小林 真道 太田 龍朗 平野 国政 横川 紀夫 幸 京碩 折井 和行 宮坂純一郎 小澤 興 桜井 真作 中村 隆一 川村 昌平 北原 隆 柳沢 省一 降旗 清文 知明 明彦 矢嶋 穆 原 一平 小口 晃 小河源章博 柳平 啓明 高見澤忠明 横山賢太郎 堀川喜太郎 宮坂 真也 小林 光男 川村 昌平 平野 国政 小林 信一 小澤 興 河西 康次	63 回生 亘理美代子 小坂 祥造 遠藤 博万 荒木 信行 宮坂 尚利	64 回生 河野 靖好 古村 民司 藤森 郁男 丸山 伸一 藤森 汎 博通 和親 増澤 廣志 両角 晃一 大西 高司 中村 傲明 長田 宏子 水野 至 中島 澄雄 滝沢 盛夫 石城 祐吉 金子 浩之 田中万亀男 浜 武秀 北澤 夏司 濱 弘章 中村 重紀 九津見生哲 細川 宣臣
---	---------------------------------	---	-------------------------	---	--	----------------------------------	---	--	--

旅が好きで食べることが大好きな人へ

安曇野の泊れる洋食屋さん

キッチン&やど ぶたのしっぽ

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 2186 番地 157
TEL 0263-83-5958 <http://www.sippo.net/>

小口敏彦 (81 回生)



グランツ株式会社 精密板金

代表取締役 植 松 勉
(81 回生)

本 社 〒392-0025 長野県諏訪市末広 1-3
TEL.0266-52-0868

工 場 〒391-0011 長野県茅野市玉川 11400-252
TEL.0266-70-0700

技術と誠意を持って地域社会に貢献する

期待を超える家づくり

超高気密高断熱住宅

🏠 クレパリーホーム
Royal Fort

総合建設業

🏢 興和工業株式会社

代表取締役 宮坂 好史 (75 回生)

専務取締役 北村 卓也 (75 回生)

常務取締役 芳沢 弘幸 (69 回生)

常務取締役 片倉 久道 (72 回生)

住所 長野県岡谷市田中町一丁目 5 番 5 号

電話 0266-23-2630 HP <http://www.kou-wa.co.jp>



内科 消化器科

小島クリニック

院長

小 島 洋 二 (81 回生)

〒392-0021 長野県諏訪市上川 3 丁目 2205-5

TEL 0266-56-1212 FAX0266-56-1213

内科・消化器科・小児科

小松内科クリニック

院 長 小 松 郁 俊 (69 回生)

諏訪市中洲神宮寺 245-18 TEL. 0266-53-7631



諏訪清陵同窓生の皆様、
お待ちしております!!

〒392-0026 諏訪市大手並木通り

諏訪シティホテル成田屋・1F

TEL 0266-58-6365

五味歯科医院

院長 五味 章 (81 回生)

〒391-0001 茅野市ちの 2575-1
TEL 0266-73-5430
FAX 0266-73-1828

有限会社 酒類 中

全酒類卸・業務販売

代表取締役

畑 文 博 (81 回生)

〒394-0032 長野県岡谷市若宮 2-2-32

TEL 0266-23-4139

FAX 0266-22-1300

水野 俊彦 五味 秀夫 岡本 隆之 小澤 容 降幡 久夫 横山 嘉一 竹本 正行 藤森 宏一 河合 信也 久保田 克明 鎌倉 了 平井 満 平澤 豊満 牧 成治 尾澤 弘久 水野 俊彦 春宮 明宣 松木 義文 宮坂 尚利 高木 鐵也 吉原 千文 松崎 洋一 金井 修 鶴巻 健彦 降旗 久夫 荒木 信行 丸山 佳広 小松 広茂 清水 洋右 千野 拓生 藤森 宏一 山田 善彦	64 回生 佐原 一誠 武井 直人 宮澤 玄治 垣内 直 山田 卷義 林 博優 山崎 智仁 藤森 諄二 武井 省吾 千野 眞二 小口 壽夫 木下 勝 伊東 仁 小飼 隆文 堀内 龍也 清水 茂文 石原 千明 小口 博義 有賀 詔 堀内 稔 山本 建夫 小松 新平 五味 孝臣 鮎澤 宏威 中山 正彦 山田 卷義	65 回生 有賀 俊夫 名取 武一 細田 正昭	笠原 重治 伊藤 速一 原 英充 五味 正明 牛山 景一 春日 芳夫 田中 健雄 柳澤 共榮 田久保 昇 田中 邦昭 竹村 友一 藤森 弘 中村 國彦 池田 昌純 小松 誠 細川 直吉 保坂 俊正 中野 明 藤森 邦秀 五味 正明 伊藤 速一 竹村 友一 飯田 正孝	66 回生 小澤 博行 武内 廣盛 智己 信明 守矢 信明 笠原 克彦 今井 英雄 佐藤 武夫	原 護 中村 俊夫 小池 洋司 武内 廣盛 五味 洋 小口 俊吉	67 回生 藤井 光子 中村 哲夫 矢崎 源秀 篠原 雅孝 吉澤 修平 勅使川 明 中村 奎司 笠原 敬司 中島 永人 矢萩 哲也 小池 光二 高木 智彦 笠原 充雅 矢萩 哲也 花岡 真紀雄 矢萩 正昭 小松 仁 上田 典胤 吉江 春人 明 清二 高 三 猛英 明 正 正典	藤森 大和 森 幹夫 有賀 良夫 和 尚人 大森 徳雄 藤森 赤羽 春日 昌明 宮原 功 小口 定男 大和 一男 貢 伊史 八郎 隆憲	69 回生 武居 文夫 笠島 信明 中村 正治 花岡 正 小口 眞紀雄 矢萩 正昭 小松 仁 典胤 春人 明 清二 高 三 猛英 明 正 正典	富雄 一男 森 幹夫 有賀 良夫 和 尚人 大森 徳雄 藤森 赤羽 春日 昌明 宮原 功 小口 定男 大和 一男 貢 伊史 八郎 隆憲	70 回生 藤森 廣幸 小口 卓男 矢萩 芳明 小林 金好 藤森 依田 小林 和男 柴 正徳 清水 保雄 藤森 行雄 小林 光廣 丸山 嘉夫 平山 哲三	71 回生 田畑 加久司 伊藤 洋一 小林 精治 洪江 利明 横内 保美	茅野 正男 小川 三雄 柳平 恒夫 小野 新正 比田 井昌英 山崎 卓 権東 明 矢澤 博 両角 高三	72 回生 大倉 幸雄 荒木 敬悦 桑沢 元孝 武居 俊夫 三井 義久 野口 俊樹 熊崎 秀和 笠原 勇二 竹内 章 新井 敏夫 市村 昌弘 植松 初雄 鮎沢 永 林 健康	73 回生 浅川 辰司 林 重男 小松 宏昭 小山 泰男 本田 稔 熊谷 靖樹 井澤 昭夫	宮坂 敏郎 矢島 俊一 五味 常明 近藤 知雄 齋藤 茂 加藤 博明 小口 順一郎 浜 研一	74 回生 松縄 茂 五味 克成 三井 常夫 大滝 精一 柳沢 孝彦 矢萩 弥枝 小口 哲男 高木 健治 智義 常夫 英一 精一 健夫 利文	75 回生 宮坂 通世 栗林 利治 五味 文彦 宮坂 好史 土橋 宏康 伊藤 弘志 飯森 裕見子 栗林 利治 五味 文彦 徳嵩 昇一 河西 安造 工藤 信一	76 回生 石井 和夫 山岡 恵 小口 直彦 浜 典幸 渡辺 修 大滝 啓吉 片山 清 小口 憲良 茅野 俊秋 上原 幸治 花岡 博茂 龍岡 達子 曾根 悦夫 小口 直彦 龍岡 達子 横澤 達郎 野口 幹夫	遠藤 孝文 横内 大 五味 信治 武居 俊雄 岡野 健 武井 孝博 鳥羽 研二 吉川 悟 小池 忠男 平塚 唯史 浅川 辰司 堀田 文昭 佐藤 健介 山田 文雄	進 孝文 大 信治 俊雄 健 孝博 研二 悟 史 唯史 辰司 文昭 健介 文雄
--	---	----------------------------------	---	--	---	---	--	---	--	--	---	---	--	--	---	---	--	--	---	--

77 回生 小松 正彦 小林 祥一 春日 敏彦 小口 晋平 五味 崇行 小松 教幸 田添 珠実 小口 晋平 薩摩林 恭子 平出 美彦 小口 武男	79 回生 青沼 卷弘 寺澤 茂 岩波金太郎 市瀬 章 伴野 豊 伊藤 幾文 小泉 章 菊池 元志 岡 しおり 高橋 則広 菊池 元志 花岡 繁 平出 義明 飯田 良	80 回生 秋山 良子 市瀬 章 原田 健 小平 茂雄 高木 保夫 小林 健 北原 悦次 武居 光雄 桑澤 二郎 小松 仁 船木 正也 早出 徳長 伊藤 実 溝口 到 原田 信 矢島 茂人 石川 ふみ子 飯澤 隆	81 回生 白田 和生 辻 洋 花岡 孝幸 大島 一二 中野 則雄 諏訪 雅顕 矢崎 理恵 平島 孝人 小島 洋二 田中 輝明 大滝 祐吉 田中 輝明 小口 輝美朗 伊藤 洋一 矢島 俊樹	82 回生 宮下 文利 内山 茂晴 土田 知明 佐野 研二 村上 裕昭 五味 康二 幸則 隆吾 林 暢彦 新澤 みどり 原 孝彦 小口 孝司 五味 弘昌 矢島 充博 矢嶋 哲 松崎 任宏 新澤 みどり 長田 秀夫	83 回生 岡本 徹 小野 博正 平林 和之 小口 慶一郎 花岡 秀康 尾澤 永敏 西川 俊夫 具 保 久根 敏 赤羽 武弘 柳澤 永樹 具 保 羽田 憲彦 野村 典亨 古厩 千真規 尾澤 永敏 原藤 健紀	84 回生 河西 明 長田 里美 片桐 ゆかり 立花 美香 永田 直也 降旗 美晴 坂西 研一 伊藤 久人 大久保 淳一 辻 清隆 中村 真澄 板橋 美佐 柳澤 孝史 清水 俊樹 伊藤 佐与子 細田 明	85 回生 増沢 健二 北原 雄一 松木 勝一 土橋 智也 村田 和広 有賀 誠司 牛山 高彦 茅野 匡浩 長澤 薫	86 回生 坂西 研一 伊藤 久人 大久保 淳一 辻 清隆 中村 真澄 板橋 美佐 柳澤 孝史 清水 俊樹 伊藤 佐与子 細田 明	87 回生 河内 明 長田 里美 片桐 ゆかり 立花 美香 永田 直也 降旗 美晴 坂西 研一 伊藤 久人 大久保 淳一 辻 清隆 中村 真澄 板橋 美佐 柳澤 孝史 清水 俊樹 伊藤 佐与子 細田 明	88 回生 小川 幸司 赤池 一馬 増沢 浩一 小口 智雅 高島 由季子 須藤 美香里 河口 利男	89 回生 今井 聡一郎 大野 美江 小口 亘 矢島 和明 今井 聡一郎 村上 伸一郎 植松 秀生 打保 直樹	90 回生 西瀬 祥一 矢澤 勲 高橋 昌彦 坂口 みほ 中村 悦子
---	---	--	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---

弁護士 諏訪 雅顕 (81 回生)

諏訪法律事務所
〒392-0022
長野県諏訪市高島 1-6-9
TEL: 0266-53-3460
FAX: 0266-53-9078
E-mail: fwnc0752@mb.infoweb.ne.jp

人と自然を大切に、超精密に挑戦する

超精密への挑戦 Takashima 高島産業株式会社

代表取締役社長 小口 武男 (77 回)
監査役 小口 信治 (73 回)
監査役 小松 宏光 (77 回)

本 社 工場 ☎ 391-0012 茅野市金沢 5695-6 ☎ (0266) 52-3311 (代表)
諏訪工場 ☎ 392-0007 諏訪市清水 2-1-21 ☎ (0266) 52-3470
URL: http://www.takashima.co.jp

諏訪東京理科大学

篠原菊紀

81 回生

CERIOTEC 株式会社セリオテック

代表取締役 社長
小口 浩 昭 (81 回生)

本社・工場 長野県諏訪郡諏訪市中洲 4711 〒392-0015
TEL: 0266-58-3113 (代) FAX: 0266-58-5201
URL: http://www.ceriotec.co.jp

株式会社 中央写真

Operius Partner RICOH OA 機器・保守サービス・スチール・レンタル
データ入出力・製本・大判カラー・事務用品

代表取締役 小野 靖 (81 回生)

ちのコピーセンター 茅野市本町東 6-4
TEL: 0266(73)3500
諏訪本社 諏訪市四賀 49
TEL: 0266(52)6455
http://www.chuocopy.co.jp

総合日用品雑貨・ホテル用品

業務用厨房用品
避難防災用品



豊かな暮らしに、お役に立ちたい!!
株式会社 ツチハシ

代表取締役 土橋 英一 (74 回生)
土橋 嵩史 (105 回生)
那須野 敏男 (70 回生)

本 社 〒391-8580 長野県茅野市本町西 21 番 2 号
TEL (0266) 72-7221 (代) FAX (0266) 72-8790

医療法人 研成会

諏訪湖畔病院

〒394-8515
長野県岡谷市長地小萩 1-11-30
Tel 0266-27-5500 (代)
Fax 0266-28-7012
ホムペ URL http://www.kensei-kai.jp

S&S 諏訪総合設計株式会社
SUWA SÔGÔ DESIGN CO., LTD. (ARCHITECTS & ENGINEERS)

代表取締役 宮坂 正博 (70 回生)
設計室長 土屋 治明 (91 回生)

〒394-0025 岡谷市大栄町 1 丁目 10 番 10 号
TEL 0266(22)4311 FAX 0266(23)1795
http://www.lcv.ne.jp/~suwasogo

浜整形形成外科医院

院長 浜 弘 毅 (63 回生)

〒394-0028 岡谷市本町 1-7-25
TEL 0266-24-3011

HINOMARU PAINT

代表 茅野 明彦
(81 回生)

〒394-0084 長野県岡谷市長地片間町 2 丁目 2-8
TEL: 0266-28-7851 FAX: 0263-54-3583
一般塗装工事・住宅塗り替え

小河原綾子 小河原一浩 坂口 みほ 武田 哲夫 矢澤 勲 古村 雅利 伊藤 浩平 矢崎 宏明 足助 みわ	植松 真実 竹内 良之 菅沼 清 竹内 良之 新村 克英 望月 一弘 藤森 伝太 小竹 直子	御園健一郎 辛 宣廣 小池 涉 一ノ瀬弘紀 熊谷 信 小松 貴弘 柳澤 由紀 御園健一郎 辛 宣廣 北原 克彦	小松 直樹 中谷 哲司 市川 壮一	平澤 賢市 小池 賢志	北沢 喜一 佐藤 広太	109 回生 平塚真由美	小浜 卓也 細田 由貴	征矢 啓輔 増澤 拓也 篠原 映美 金子 圭佑 小林 貴紀 友枝 勝登 小口 卓真 森 みのり 渡邊 泰樹 中谷 裕一
91 回生	93 回生	96 回生	98 回生	102 回生	106 回生	110 回生	113 回生	116 回生
上原 綾子 藤森 完一 小口 和也 矢澤 哲也 藤森 完一 堀内 大吾	宮坂 清 水品 善之	五味 弘行 五味 出雲 中條 倫江 五味 弘行 平林 一也	中村 勇樹	岩波 秀典 笠島 明浩 小林真知子 松尾 花子	古川 綾一 中村英理子 小松 真之 小松 嵩宙 田村 隆	竹原 文恵 片倉 正浩 田中 一平 片倉 正浩 伊藤 千夏 田村 聡	小林 九重 安達由紀子 矢崎 晃未 飯澤 瞳 雨宮 宙大 石田 朋大	福澤 大貴 花岡 大輔
92 回生	94 回生	97 回生	100 回生	104 回生	107 回生	111 回生	114 回生	115 回生
西澤 賢	宮坂のり江 原田 充 藤森 賢也	五味 泰史 林 敬祐	遠藤 健央 青木 大輔	山田 尚生 高瀬 裕美	蘇我 将宏 秋山 緑 花岡 美智	伊藤 大貴 小松麻裕子 武居 雅樹	柳澤 真帆 辻村 朋子 小坂 一貴 矢崎 和貴	
95 回生	99 回生	101 回生	105 回生	108 回生	112 回生	115 回生		
岩井美由紀	岡部 保子	島田 夏子	宮坂 洋輔 吉江 春子 五味 良子 矢花 之宏 宮坂 洋輔 中村 貴帆	古川 恭子 小松 雅宙 山田 恵介 津金みほろ	竹松 俊彦 田中 正明	佐々木 文 長澤 晨哉		

 (有)双葉製作所
CLEAN & BLOOM (株)ウェルクラフト

取締役 上原 文明 (83 回)

内科・小児科・胃腸科
在宅医療・訪問診療・往診
まつもと 医療法人 松本医院

院長 松本 宙明 (88 回生)

〒392-0007 長野県諏訪市清水 2-4-12 TEL.0266-52-3247

Challenge Spirit

金属熱処理の総合メーカー

丸眞製作所
株式会社 丸眞製作所

代表取締役社長 高木 克彦 (81 回生)

取締役生産技術部長 高木 伸彦 (87 回生)

■本社 / 岡谷市 10016-471 エコ・ファクトリーパーク湯殿山-1
TEL.0266(75)8100 FAX.0266(75)8107

(有)矢崎薬局

薬剤師 矢崎光貞 (81 回生)

〒394-0003

岡谷市加茂町 2 丁目 16-3

電話：0266-23-7125

FAX：0266-23-6668

医療法人 清風会

宮坂医院

院長 宮坂圭一

宮坂洋輔 (105 回生)

埼玉医科大学医学部学生

〒392-0006 諏訪市元町 4-10

Tel 0266-52-1711

— 地域の皆様のお役に立てる —

特定総合建設業

山岸建設株式会社

常務取締役 宮坂 憲治 (75 回生)

〒394-0042 岡谷市成田町 2-6-15

TEL 0266-23-3100 FAX 0266-23-2108

URL <http://yamagisikensetu.co.jp>

営業所 東京・辰野・富士見・塩尻・下諏訪・原

名簿編集委員会から重要なお知らせ

委員長 古原 正之 (69 回生)

来年 (平成 27 年) 6 月に発行予定の 120 周年記念名簿発行のための調査は、今回の同窓会報に同封されたもので最終となります。本調査用紙に記載されている内容で良いか、最終確認をよろしく願いたします。

なお、名簿記載内容の確認、名簿購入の希望、広告掲載の申し出等の締め切りは、編集作業等の日程から 本年 (平成 26 年) 10 月末日 とさせていただきます。ご承知おきください。より正確で価値の高い名簿とするため、不明者等の情報もぜひお寄せください。

名簿の頒布予定価格は一冊 5,000 円 です。来年お手元に届いてから振り込み用紙にてお支払い頂きます。

また、広告掲載は 1 ページで 10 万円、1/2 ページで 5 万円、1/4

ページで 3 万円です。(広告掲載者には名簿を 1 冊贈呈します。)

今回の名簿は、恐らく、全同窓生が同一内容で記載される最後のものとなります。また、昨今の個人情報保護の動きの中で、今後は名簿発行自体が難しくなる可能性が大いにあります。このような事情に鑑み、多くの同窓会員の皆様のご購入を心よりご期待申し上げます。

■昨年度までの経過は以下のとおりです。(平成 26 年 2 月末日現在)

- ・名簿作成資料 (同窓会報に同封) の総送付部数 20,399 通
- ・名簿購入希望数 2,148 件
- ・広告掲載希望数 39 件

■お問い合わせ

同窓会事務局 「事務局だより」参照

事務局だより

事務局長 林 隆憲 (68 回)

また、瞬く間に過ぎ去った 1 年を振り返りました。

今年度の目玉である「清陵高校附属中学校開校」は単なる学校規模拡大だけではなく、内外に大きな注目と期待があり、質的にも変化をした歴史的な大改革でした。これにつきましたは、同窓会および一般財団法人諏訪清陵会から物心両面の助成をしました。はつらつとした中学生、中学校の先生方を拝見するにつけ、数年後の更に成長した本校の姿を心待ちにするものです。

昨年この欄におきまして、支部活動について触れさせて頂きましたが、総じて支部総会参加会員の増加、それに伴う活動の活発化のご報告を多く頂いた気がしますし、各学年独自の出版・諸会議などの報告を頂いています。是非とも「地区支部だより」「学年会短信」をご一読願います。

現在、本会には全国に 12 支部ありまして昨年の総会でもお願いしたのですが、2～3 月に集中 (昨年まで 8/12 支部) してしました支部総会の時期を 3 支部が変更して下さいました。伝統やご事情がある中、大変ありがとうございました。ご協力頂ける余地がおりのようなでしたら、引き続きご検討宜しくお願い致します。

最後に嬉しいニュースですが、過日下記が出版されました。この企画が始まって全国で 87 番目の採用ということです。これも、是非ご一読頂きたいと思います。

週刊「エコノミスト」(4/1 毎日新聞社)

『名門高校の校風と人脈⑧』

諏訪清陵高校 (長野県立・諏訪市)

110 年続く日本一長い校歌 反骨の出版人や学者が多数

なお、この度の会報の出版にあたりましてご尽力頂き、また来たる定期総会に向けて着々と準備を進められています 81 回生の皆さんに、心から感謝申し上げます。

＜報告連絡＞

- ・双樹会 (52 = 55 回生) より 30 万円のご寄附を頂きました。
- ・76 回生より附属中学校のために、花の球根・苗およびプランターを頂きました。
- ・「第 100 回記念諏訪湖一周マラソン」では、生徒・参加 OB などの皆様に、記念のマフラータオルを贈呈しました。

◎平成 26 年度学校同窓会係

今井 隆 (83 回) 奥村 達朗 (86 回) 辻 清隆 (86 回) 功刀 裕 (90 回) 山岡 淳一 (89 回) 百瀬 登 (92 回) 長崎 淳 (学校事務長)

◎事務局

電話：0266-58-0356

FAX：0266-57-0348

E-mai：dousoukai@suwaseiryoy.jp

ホームページ：http://www.suwaseiryoy.jp/

事務局長：林 隆憲 (68 回生) 原則的には月・木曜日出勤

内科 小児科

山崎医院

院長 山崎正彦 (80 回生)

〒394-0023

岡谷市東銀座 1 丁目 8-19

TEL 0266-22-3287

山田外科医院

院長 山田雄三 (78 回生)

診療科目 脳神経外科、外科
皮膚科、泌尿器科

岡谷市東銀座 1-12-30

TEL 0266-22-2382